

# 小・中学校における福祉に関する学習活動の取り組みに関するアンケート調査集計結果

調査実施 令和4年10月

## 1. 回収状況について

### ■ 回収数

種 別	配布数	回収数	回収率
小学校(義務教育学校含む)	199校	145校	72.9%
中学校(義務教育学校含む)	94校	68校	72.3%

## 2. 基本情報について

### 〈 小 学 校 〉

#### ■ 所在地 ※義務教育学校含む

(校)

市町村名	回答数/学校数	市町村名	回答数/学校数	市町村名	回答数/学校数
松江市	26/34	雲南市	13/15	吉賀町	2/5
浜田市	11/16	奥出雲町	6/10	海士町	2/2
出雲市	24/34	飯南町	2/4	西ノ島町	1/1
益田市	11/15	川本町	1/1	知夫村	1/1
大田市	10/16	美郷町	2/2	隠岐の島町	3/7
安来市	15/17	邑南町	5/8	無回答	1
江津市	5/7	津和野町	4/4	合 計	145/199

#### ■ 児童数

(校)

~50人	51~100人	101~200人	201~300人	301~400人	401~500人	501~600人	601~700人	701~800人	801~900人	901~1,000人
41	37	30	14	6	4	3	7	1	1	1

### 〈 中 学 校 〉

#### ■ 所在地 ※義務教育学校含む

(校)

市町村名	回答数/学校数	市町村名	回答数/学校数	市町村名	回答数/学校数
松江市	14/17	雲南市	6/7	吉賀町	3/3
浜田市	5/9	奥出雲町	2/2	海士町	1/1
出雲市	7/15	飯南町	1/2	西ノ島町	1/1
益田市	8/9	川本町	0/1	知夫村	1/1
大田市	6/6	美郷町	1/2	隠岐の島町	2/4
安来市	2/5	邑南町	1/3	合 計	68/94
江津市	4/4	津和野町	3/2		

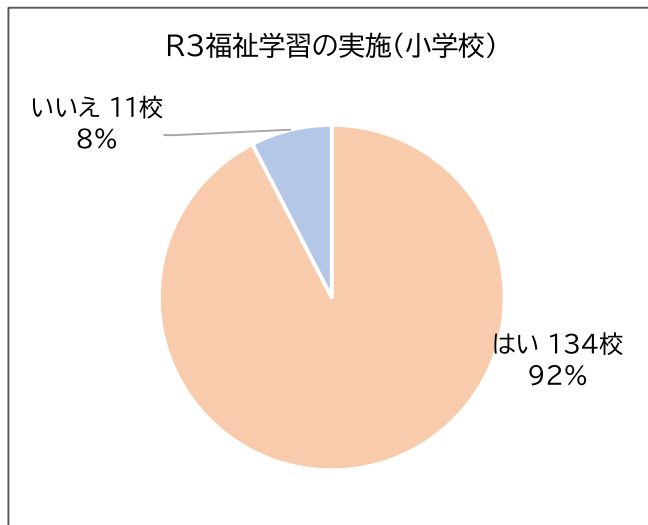
#### ■ 生徒数

(校)

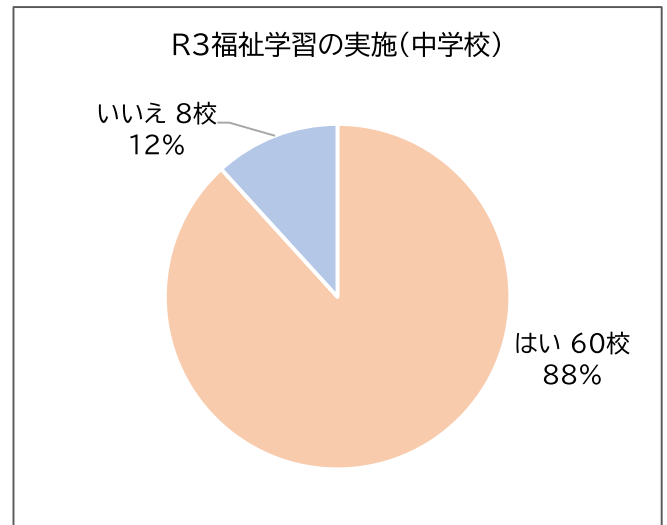
~50人	51~100人	101~200人	201~300人	301~400人	401~500人	501~600人	601~700人	701~800人	801~900人
20	14	14	8	3	5	1	1	1	1

### 3. 福祉に関する学習活動(以下「福祉学習」という。)の実施状況について

#### 〈小学校〉



#### 〈中学校〉



何らかの形で福祉学習を実施している学校は、小学校で全体の92%、中学校で88%に達しているが、実施していない学校も見られます。

### 4. 福祉学習を実施した教科・活動について（複数回答可）

#### 〈小学校〉

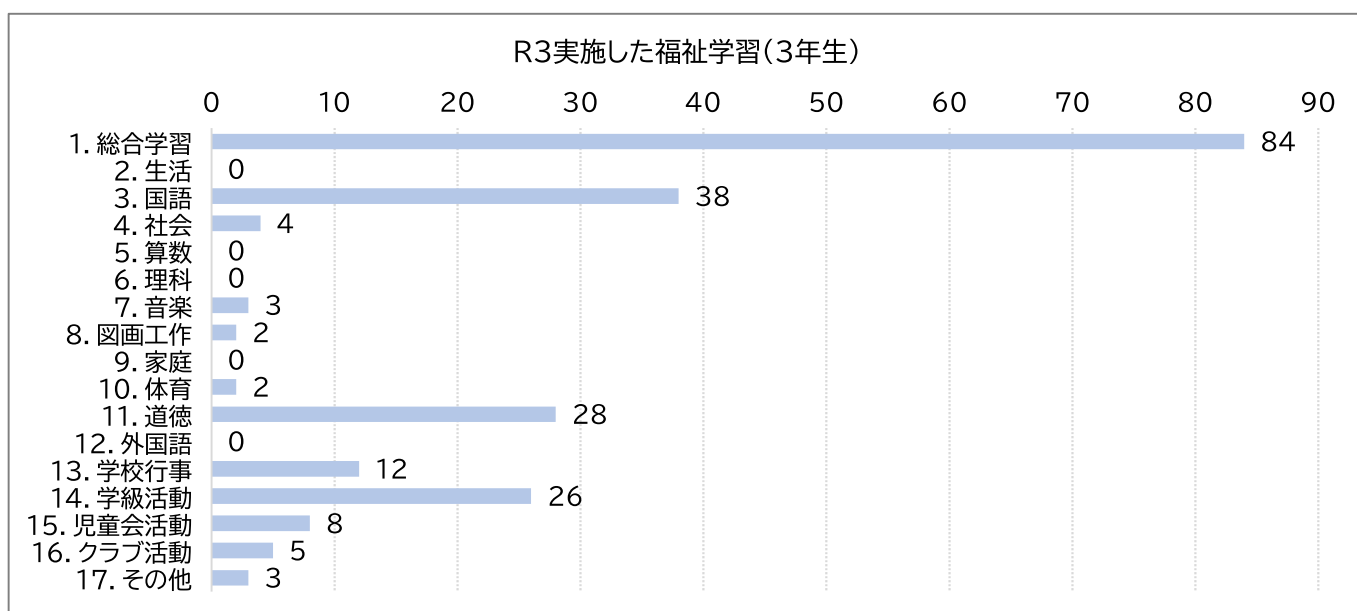
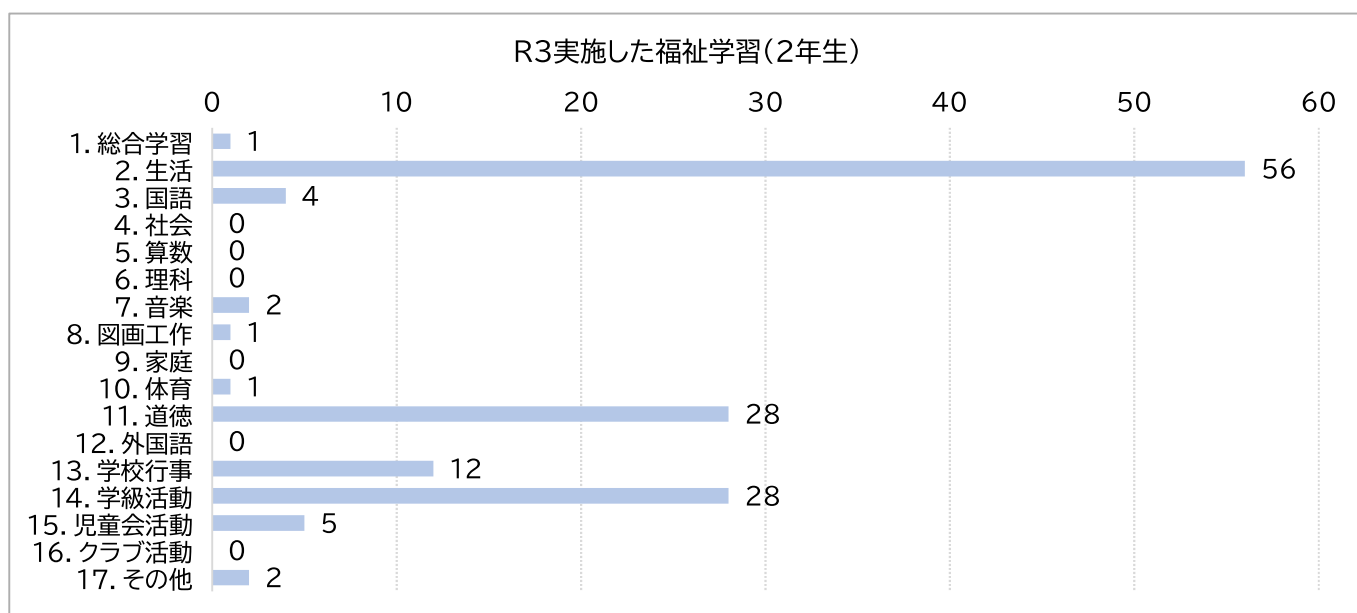
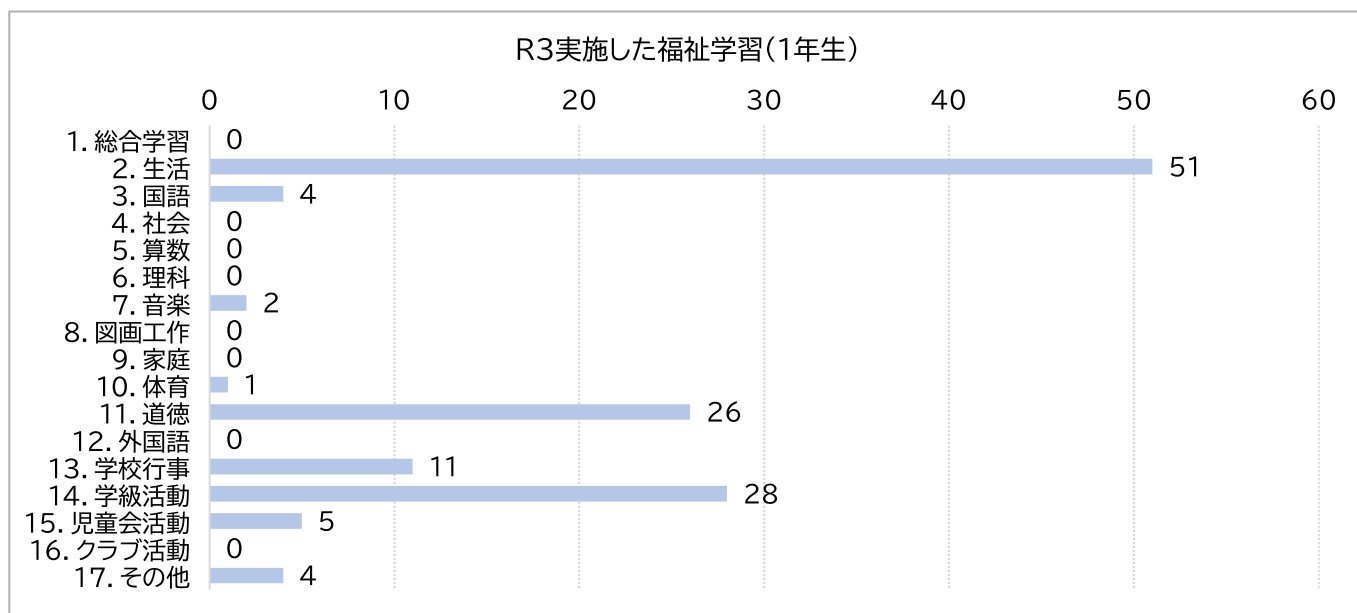
(校)

No.	教科・活動	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1	総合学習	0	1	84	61	60	42
2	生活	51	56	0	0	0	0
3	国語	4	4	38	7	6	15
4	社会	0	0	4	9	14	26
5	算数	0	0	0	0	0	0
6	理科	0	0	0	0	0	0
7	音楽	2	2	3	2	1	1
8	図画工作	0	1	2	2	0	0
9	家庭	0	0	9	0	1	1
10	体育	1	1	2	1	2	1
11	道徳	26	28	28	34	32	36
12	外国語活動・外国語	0	0	0	0	0	1
13	学校(学年)行事	11	12	12	14	11	12
14	学級活動	28	28	26	25	30	33
15	児童会活動	5	5	8	10	24	25
16	クラブ活動・部活動	0	0	5	8	11	9
17	その他	4	2	3	3	4	4

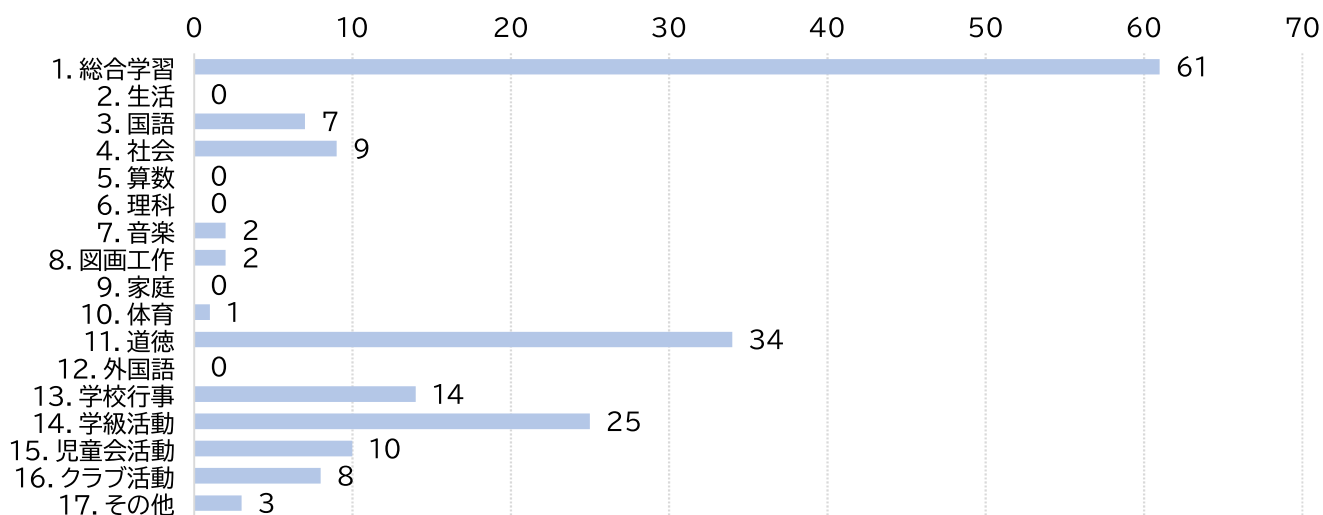
#### ● その他

- |     |                |              |            |           |
|-----|----------------|--------------|------------|-----------|
| 1年生 | ・ 赤い羽根共同募金への参加 | ・ 理解学習、敬老の手紙 | ・ 全校での取り組み | ・ 保幼小交流の日 |
| 2年生 | ・ 赤い羽根共同募金への参加 | ・ 全校での取り組み   |            |           |
| 3年生 | ・ 赤い羽根共同募金への参加 | ・ 全校での取り組み   | ・ 理解学習     |           |

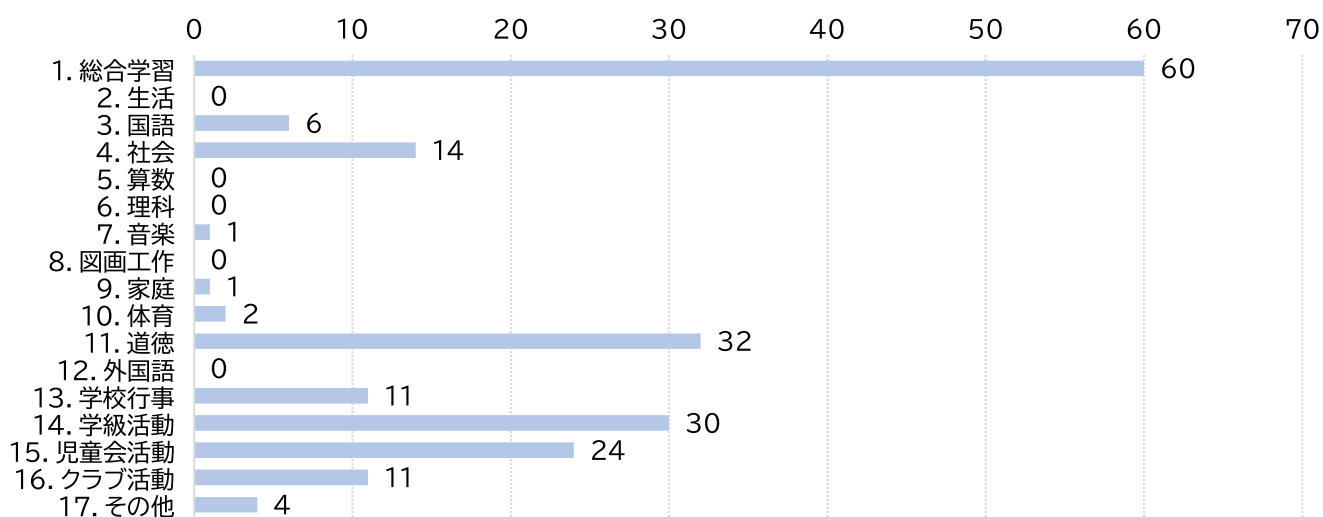
- |     |                |              |            |
|-----|----------------|--------------|------------|
| 4年生 | ・ 赤い羽根共同募金への参加 | ・ 理解学習、敬老の手紙 | ・ 全校での取り組み |
| 5年生 | ・ 赤い羽根共同募金への参加 | ・ 理解学習       | ・ 全校での取り組み |
| 6年生 | ・ 赤い羽根共同募金への参加 | ・ 理解学習       | ・ 全校での取り組み |
- ・ 居住地交流(特別支援学級)



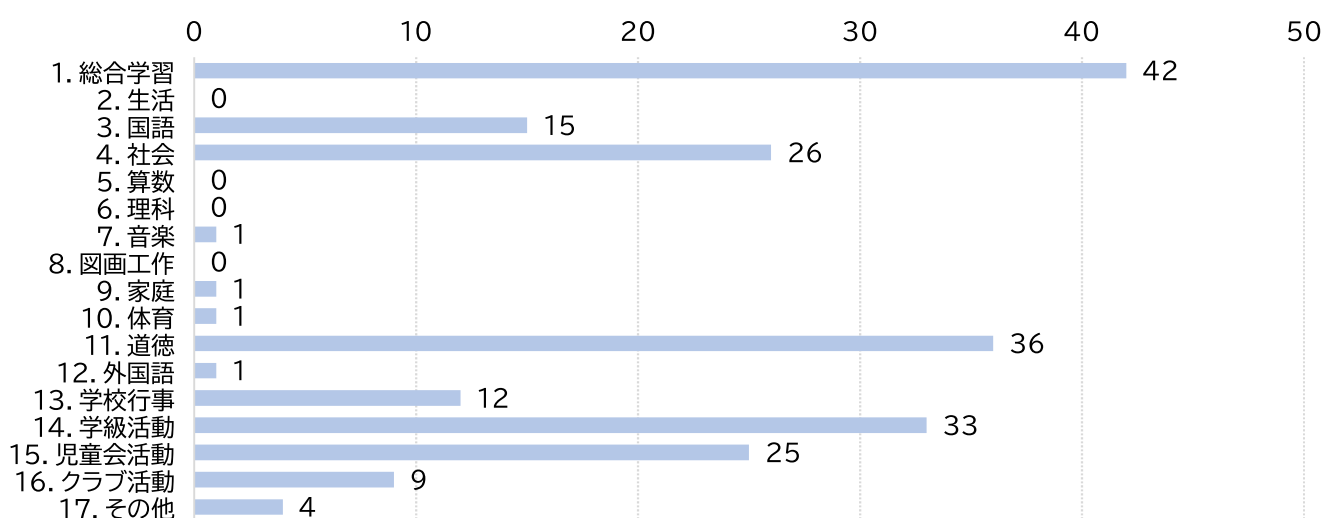
R3実施した福祉学習(4年生)



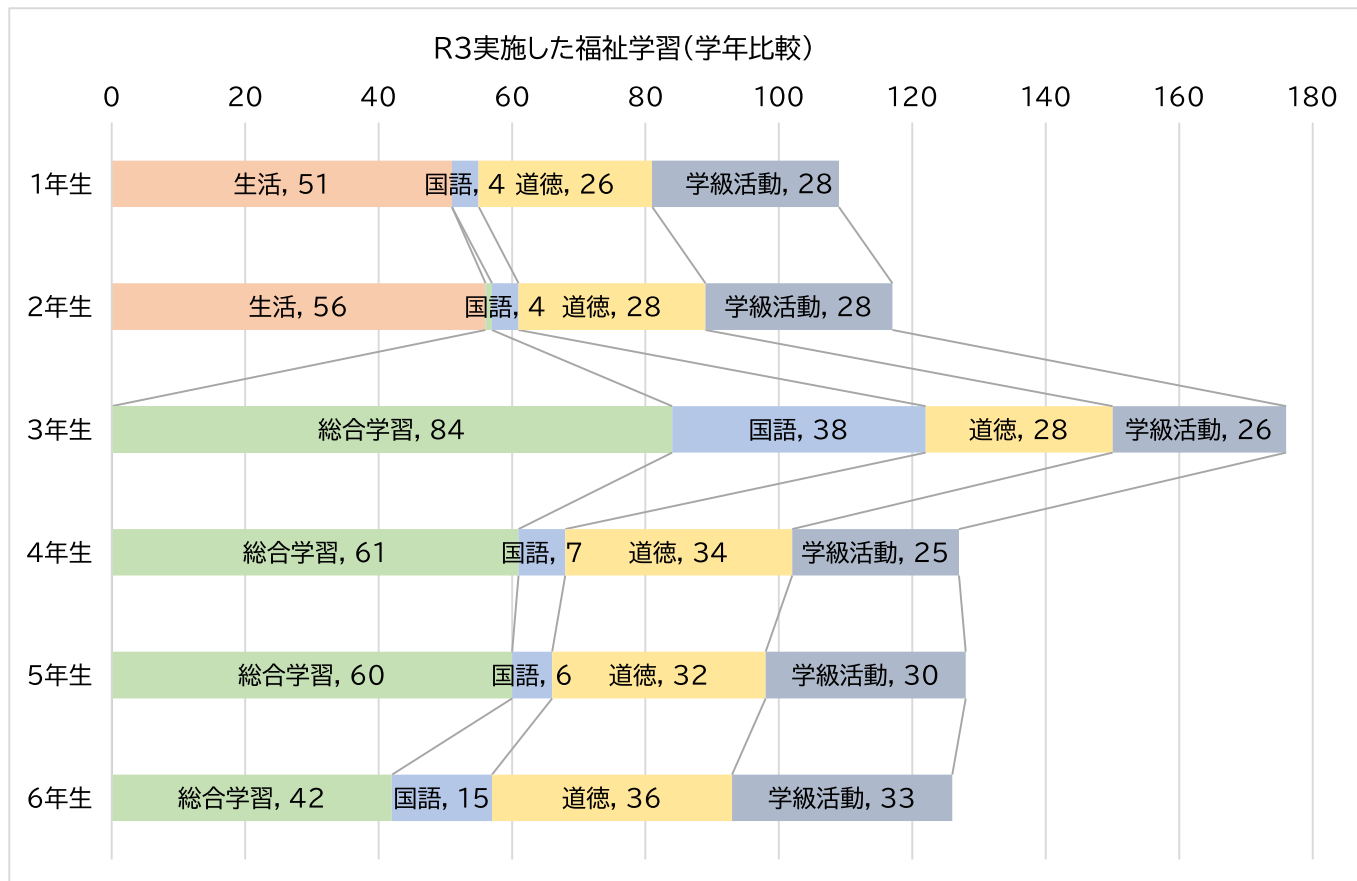
R3実施した福祉学習(5年生)



R3実施した福祉学習(6年生)





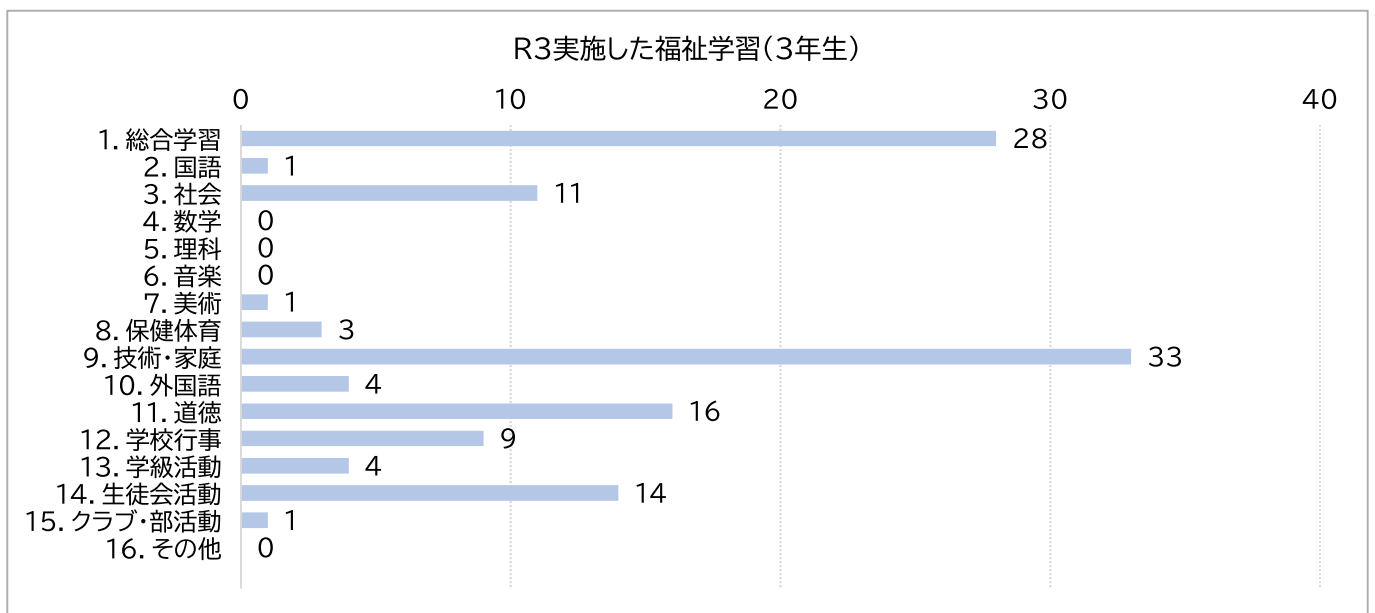
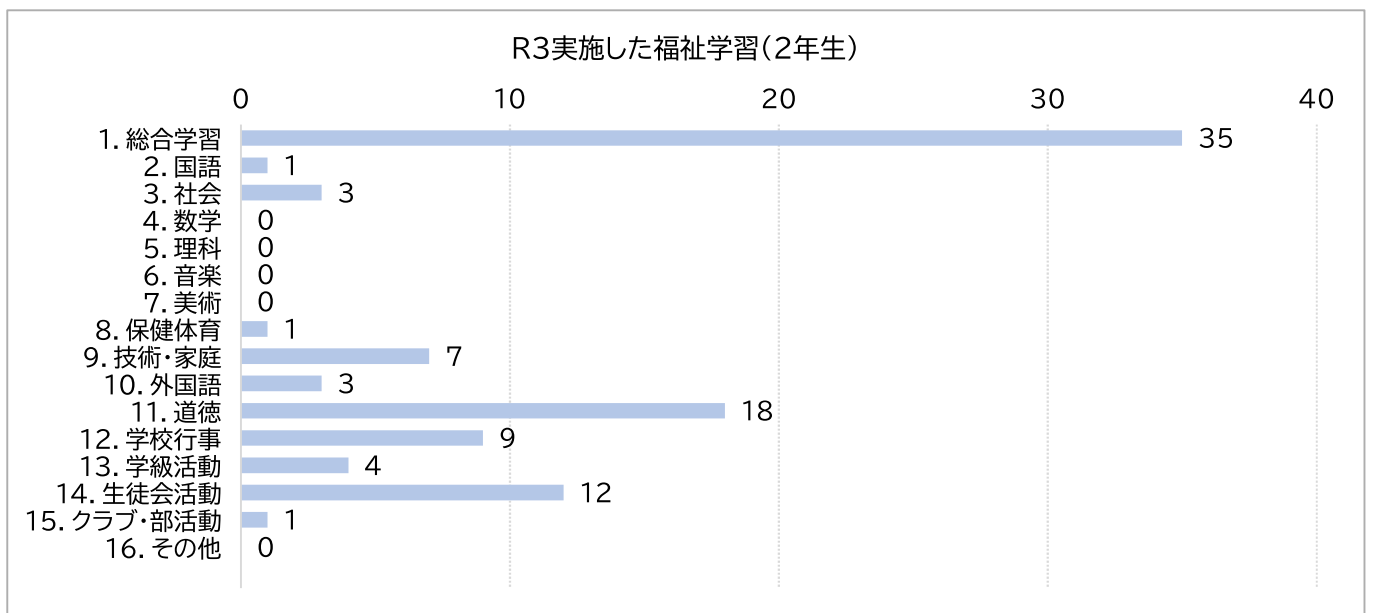
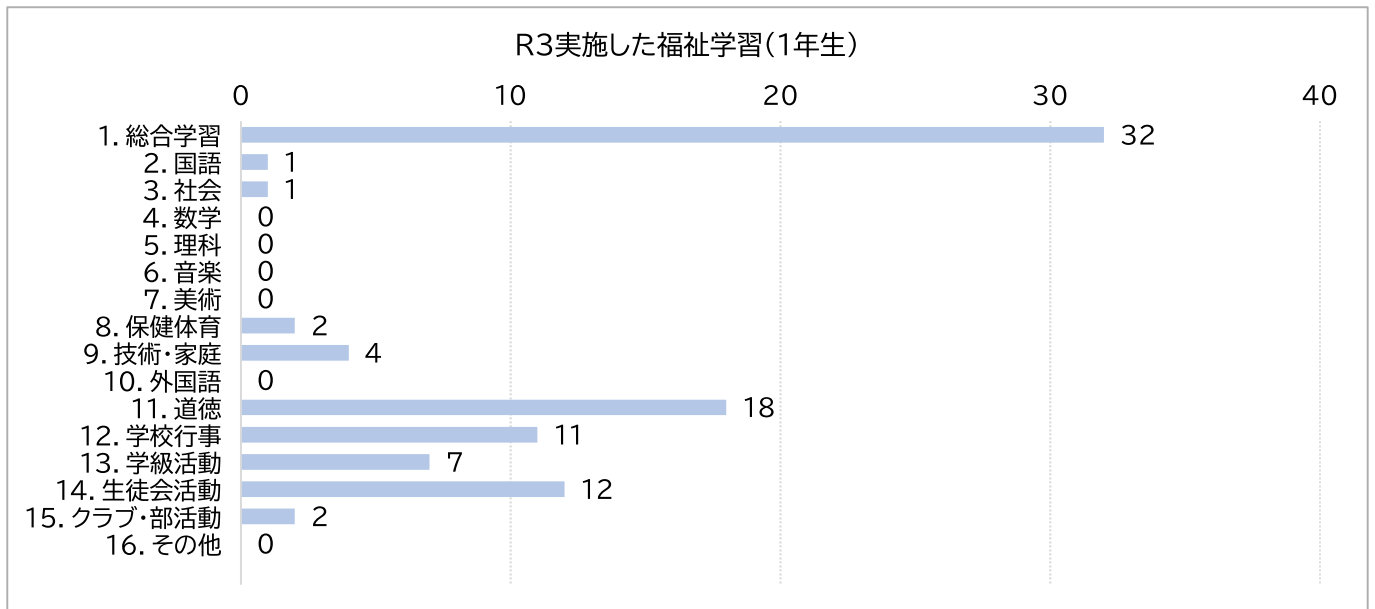


1、2年生は、「生活」を中心に取り組み、ついで「道徳」、「学級活動」となっています。3、4、5年生については、多くが「総合学習」の中で取り組まれています。3年生では「国語」での取り組みがついで多くなっています。6年生になると、「児童会活動」や「社会」など、「総合学習」以外での取り組みも多くなっています。

## 〈 中 学 校 〉

(校)

No.	教科・活動	1年生	2年生	3年生
1	総合学習	32	35	28
2	国語	1	1	1
3	社会	1	3	11
4	数学	0	0	0
5	理科	0	0	0
6	音楽	0	0	0
7	美術	0	0	1
8	保健体育	2	1	3
9	技術・家庭(家庭分野)	4	7	33
10	外国語	0	3	4
11	道徳	18	18	16
12	学校(学年)行事	11	9	9
13	学級活動	7	4	4
14	生徒会活動	12	12	14
15	クラブ活動・部活動	2	1	1
16	その他	0	0	0



「総合学習」による取り組みが中心ですが、「道徳」や「生徒会活動」における取り組みも見られます。  
 特に、中学校学習指導要領の改訂により、技術・家庭科(家庭分野)に高齢者等地域の人々と協働することに関する内容が新設されたことから、3年生では「総合学習」よりも「技術・家庭」における実施が多くなっています。

## 5. 実施した福祉学習のテーマについて（複数回答可）

### 〈 小 学 校 〉

(校)

No.	項 目	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生
1	障がい者理解	26	29	87	57	50	37
2	高齢者理解	32	33	52	47	38	41
3	幼児と子育て理解	26	20	10	5	21	21
4	地域課題	7	13	20	28	51	54
5	その他	4	5	2	6	10	8

#### ● その他

**1年生** ・ 保、幼、小の接続 ・ 地域の方とのふれあい ・ 助け合い ・ 多様な学び方、自己理解

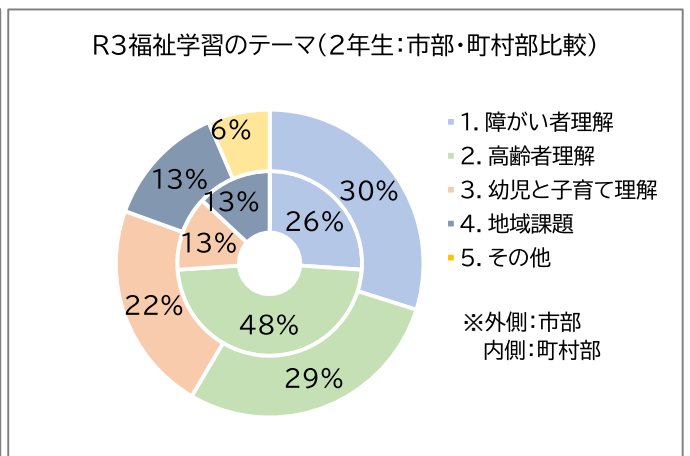
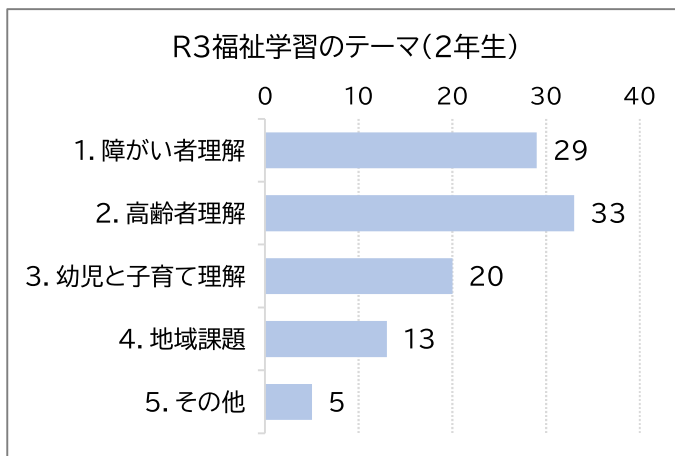
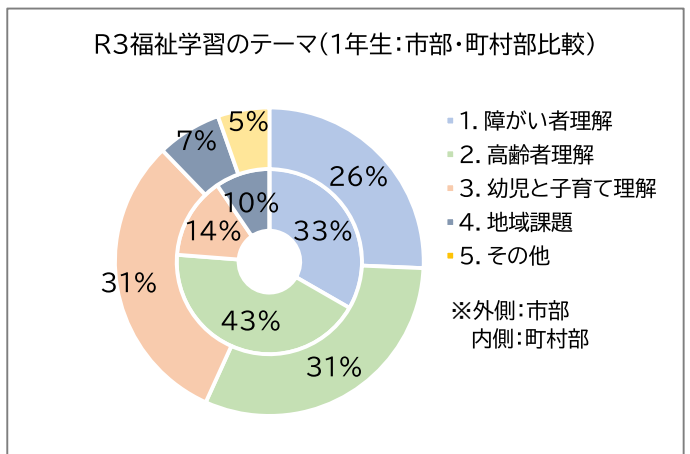
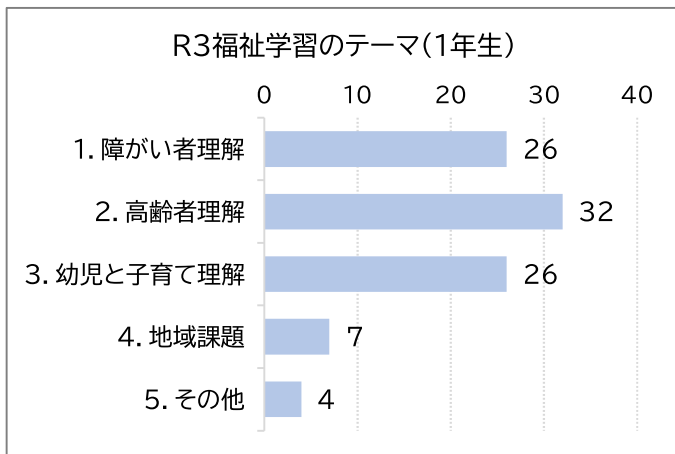
**2年生** ・ 地域の方との交流、ふれあい ・ 助け合い ・ 地域と生活 ・ 多様な学び方、自己理解

**3年生** ・ 助け合い ・ 多様な学び方、自己理解

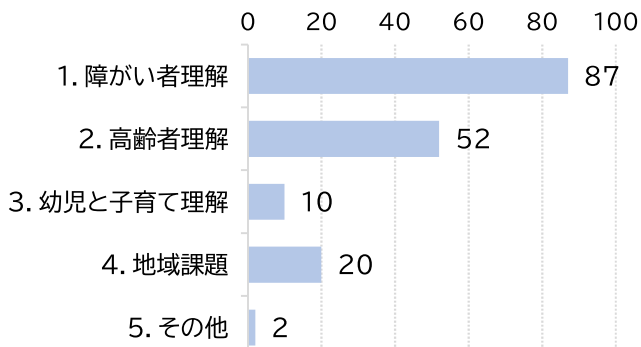
**4年生** ・ 助け合い ・ 地域の伝統にふれる ・ 国際理解 ・ 環境問題 ・ 多様な学び方、自己理解  
・ 地域の方とのふれあい

**5年生** ・ 助け合い ・ 地域の伝統にふれる ・ 国際理解 ・ 地域の方とのふれあい ・ 地域医療  
・ ハンセン病 ・ 赤い羽根に関わる内容 ・ 多様な学び方、自己理解 ・ 居住地交流(松江養護学校)  
・ ユニバーサルデザインについて

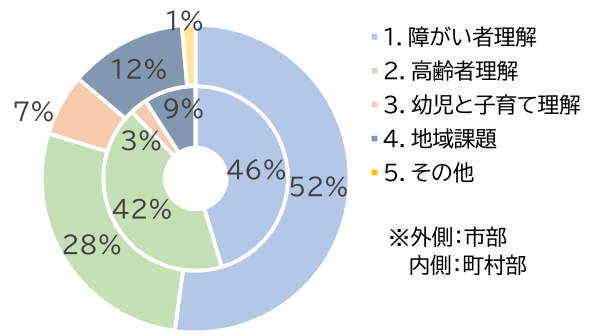
**6年生** ・ ユニバーサルデザインについて ・ 地域の方とのふれあい ・ 助け合い ・ ハンセン病 ・ ユニセフ  
・ 赤い羽根に関わる内容 ・ 人権 ・ 多様な学び方、自己理解



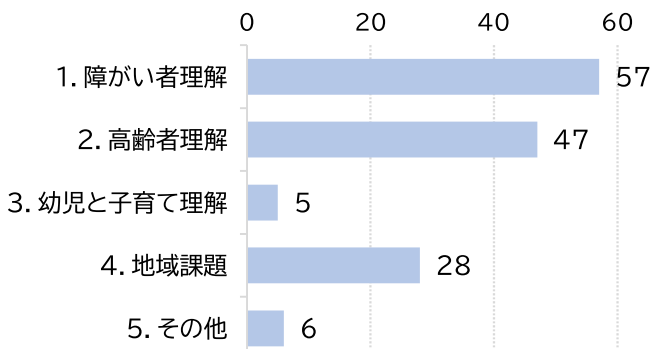
R3福祉学習のテーマ(3年生)



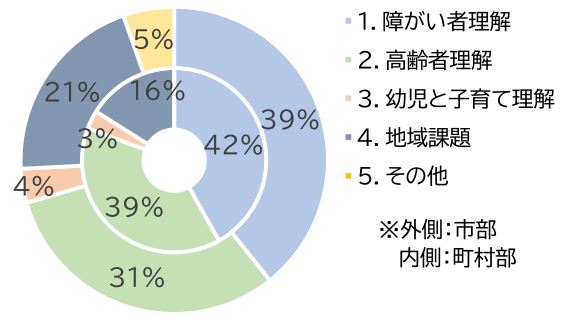
R3福祉学習のテーマ(3年生:市部・町村部比較)



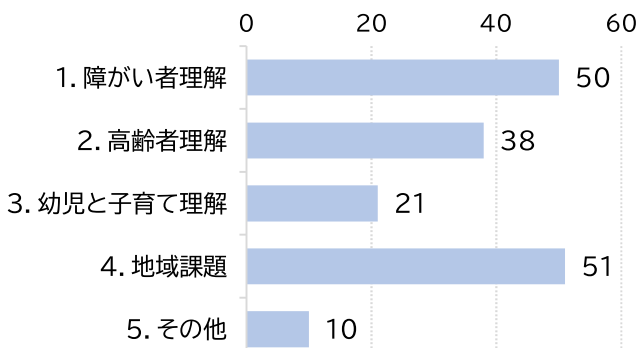
R3福祉学習のテーマ(4年生)



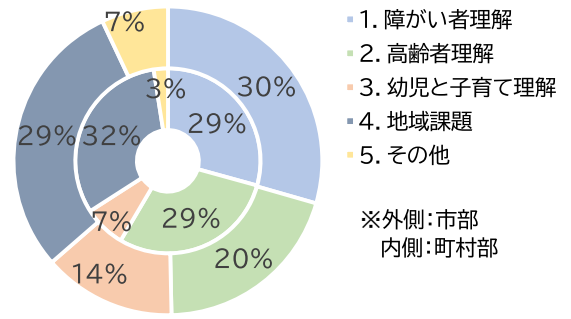
R3福祉学習のテーマ(4年生:市町村比較)



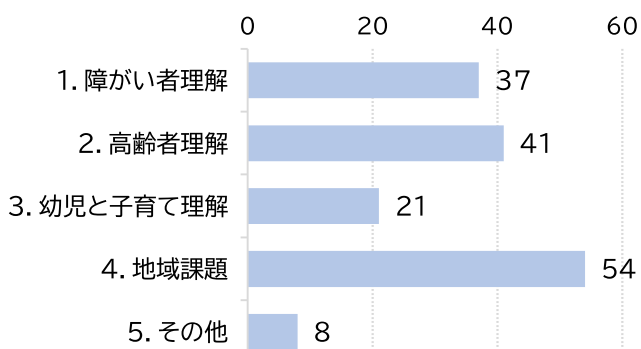
R3福祉学習のテーマ(5年生)



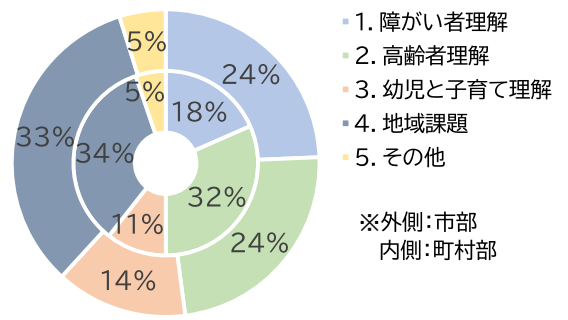
R3福祉学習のテーマ(5年生:市部・町村部比較)

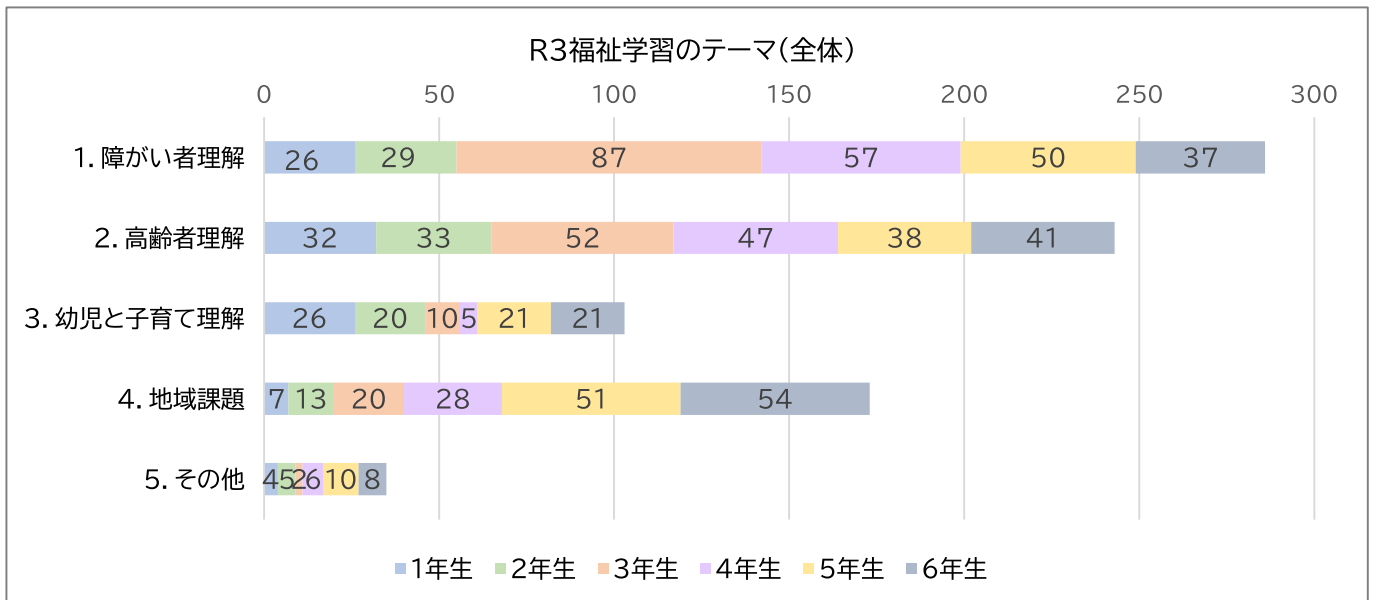


R3福祉学習のテーマ(6年生)



R3福祉学習のテーマ(6年生:市部・町村部比較)





1, 2年生は「高齢者理解」が最も多く、ついで1年生では「障がい者理解」「幼児と子育て理解」、2年生では「高齢者理解」となっています。3, 4年生では「障がい者理解」が最も多くなっていますが、5, 6年生では「地域課題」が多くなっています。

市部・町村部を比較すると、全学年において市部では「幼児と子育て理解」をテーマに取り上げる割合が町村部と比較して多くなっています。

全体で見ると、「障がい者理解」が最も多く、ついで「高齢者理解」「地域課題」となっています。

## 〈 中 学 校 〉

(校)

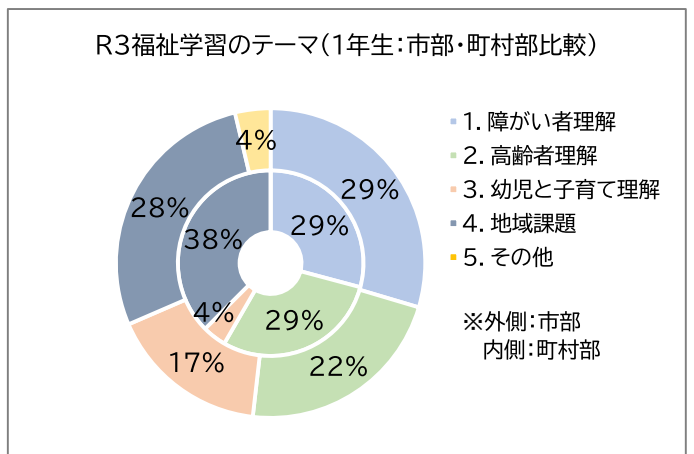
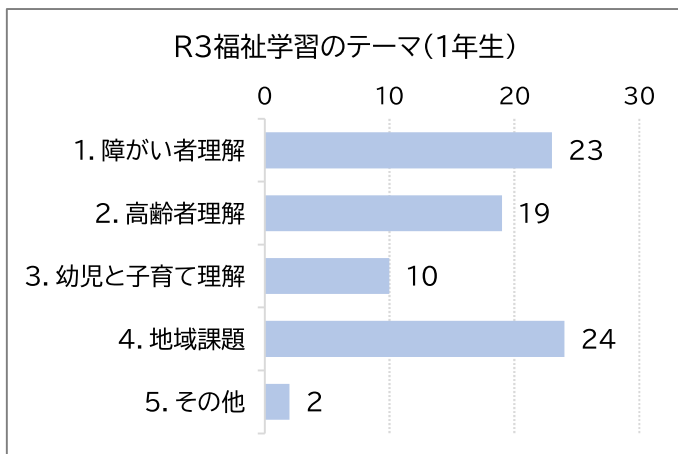
No.	項 目	1 年 生	2 年 生	3 年 生
1	障がい者理解	23	18	18
2	高齢者理解	19	22	29
3	幼児と子育て理解	10	11	36
4	地域課題	24	20	26
5	その他	2	1	2

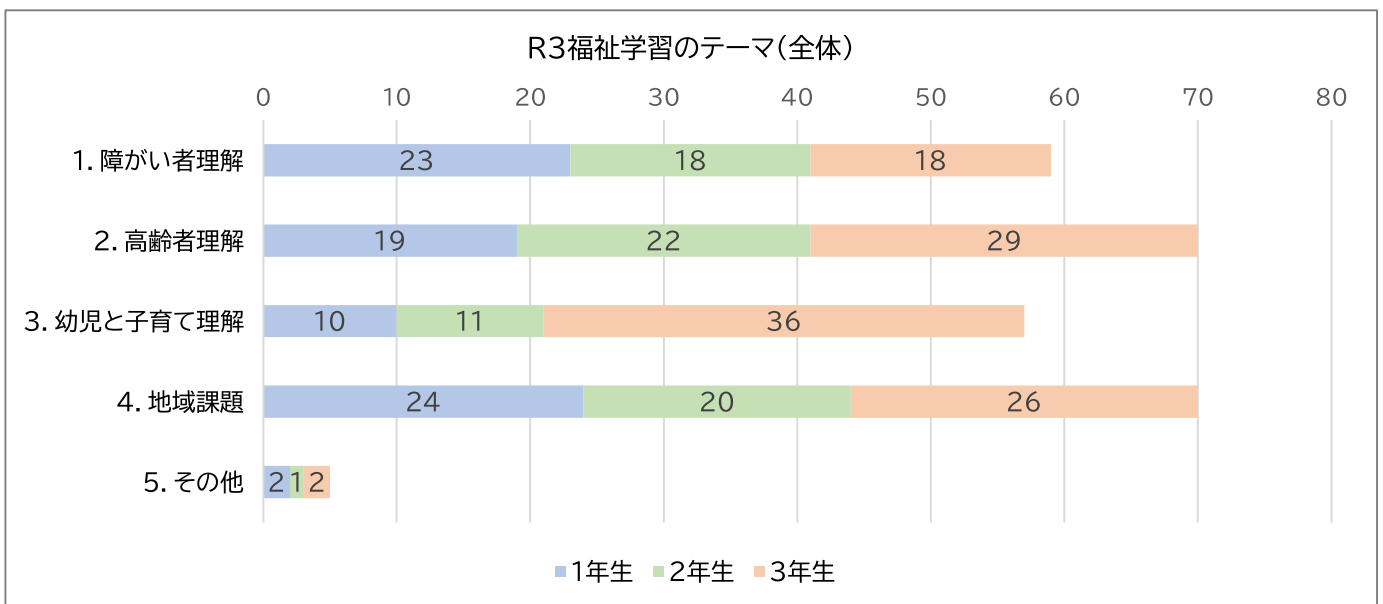
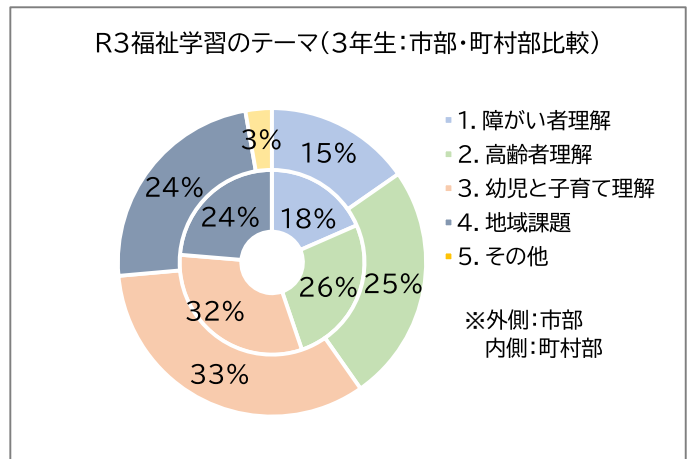
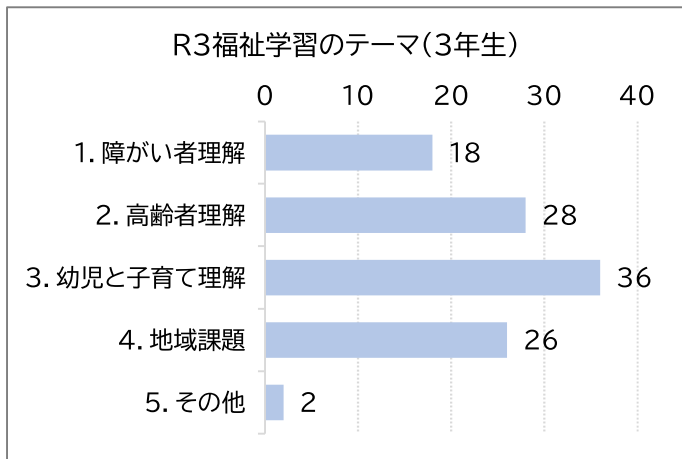
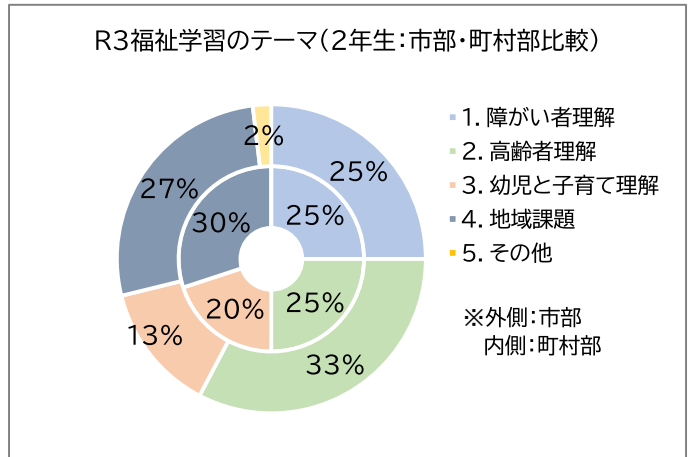
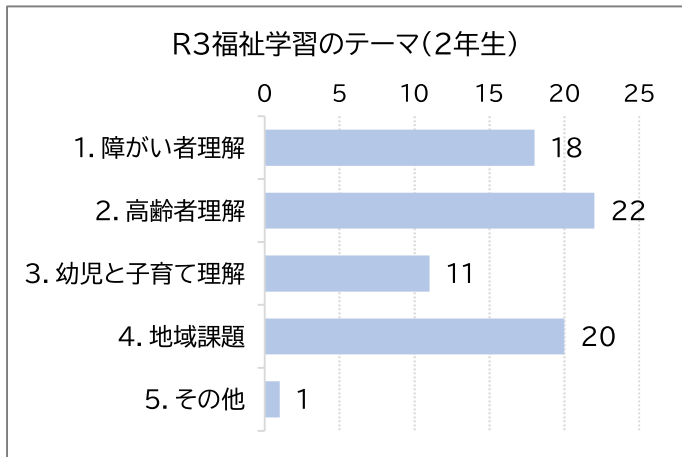
### ● その他

1年生 ・ 人権課題 ・ ジェンダー

2年生 ・ 人権課題

3年生 ・ 人権課題 ・ 地域医療講演、職場体験





1年生では「地域課題」と「障がい者理解」が多く、2年生では「高齢者理解」、3年生では「幼児と子育て理解」が最も多くなっています。

市部・町村部を比較すると、市部において1年生では「幼児と子育て理解」の割合が、2年生では「高齢者理解」の割合が大きくなっています。

全体で見ると、「高齢者理解」と「地域課題」が最も多くなっています。

## 6. 実施した福祉学習の内容について（複数回答可）

### 〈 小 学 校 〉

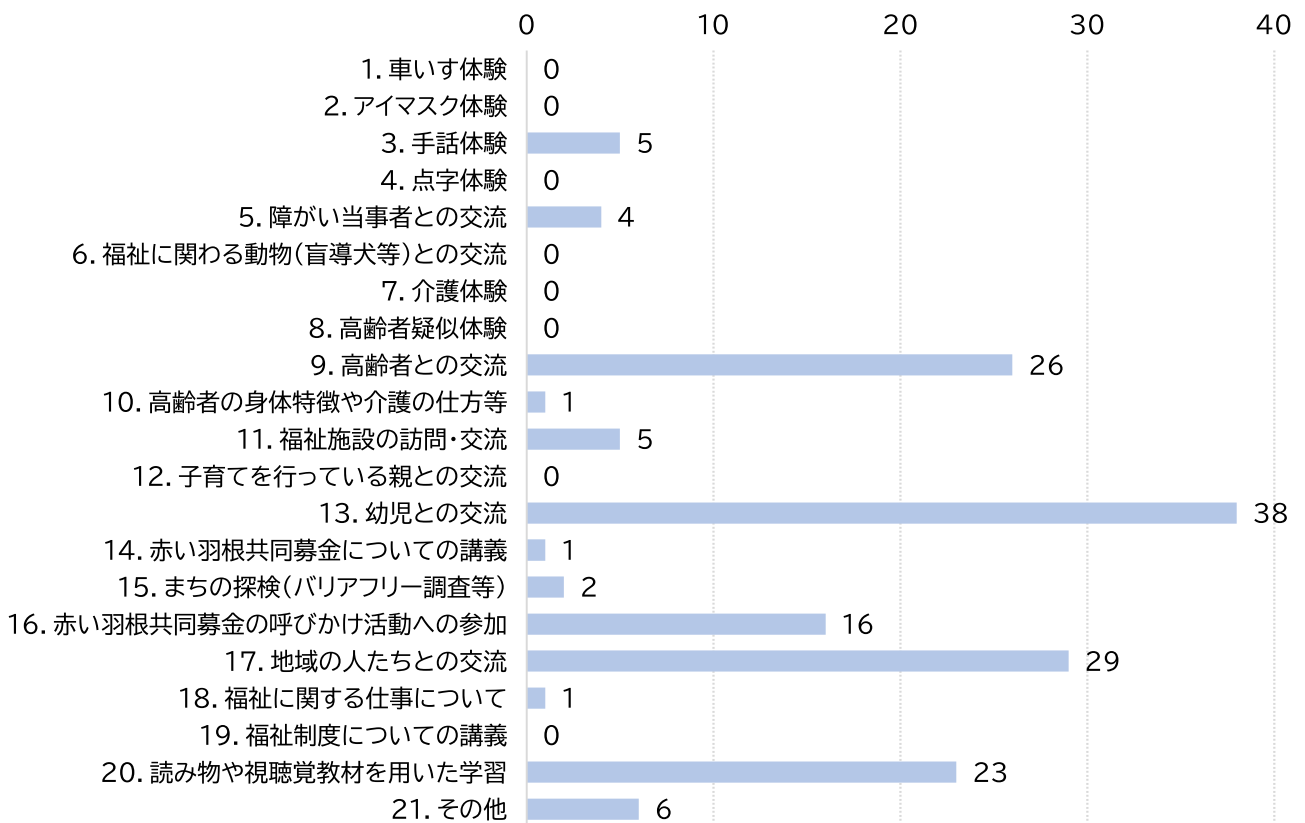
(校)

No.	項 目	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生
1	車いす体験	0	0	22	14	5	2
2	アイマスク体験	0	0	40	16	6	4
3	手話体験	5	4	19	13	9	5
4	点字体験	0	0	16	10	2	0
5	障がい当事者との交流	4	4	17	15	9	6
6	福祉に関わる動物(盲導犬等)との交流	0	0	20	4	1	0
7	介護体験	0	0	1	0	1	1
8	高齢者疑似体験	0	0	7	10	4	2
9	高齢者との交流	26	22	23	21	22	22
10	高齢者の身体特徴や介護の仕方等	1	0	1	6	1	2
11	福祉施設の訪問・交流	5	4	3	5	5	3
12	子育てを行っている親との交流	0	0	0	0	1	1
13	幼児との交流	38	21	8	7	17	8
14	赤い羽根共同募金についての講義	1	1	1	0	4	8
15	まちの探検(バリアフリー調査等)	2	12	7	10	1	2
16	赤い羽根共同募金の呼びかけ活動への参加	16	15	22	21	35	41
17	地域の人たちとの交流	29	44	29	36	43	35
18	福祉に関する仕事について	1	1	10	12	7	13
19	福祉制度についての講義	0	0	3	3	2	4
20	読み物や視聴覚教材を用いた学習	23	22	42	41	37	38
21	その他	6	8	12	9	10	11

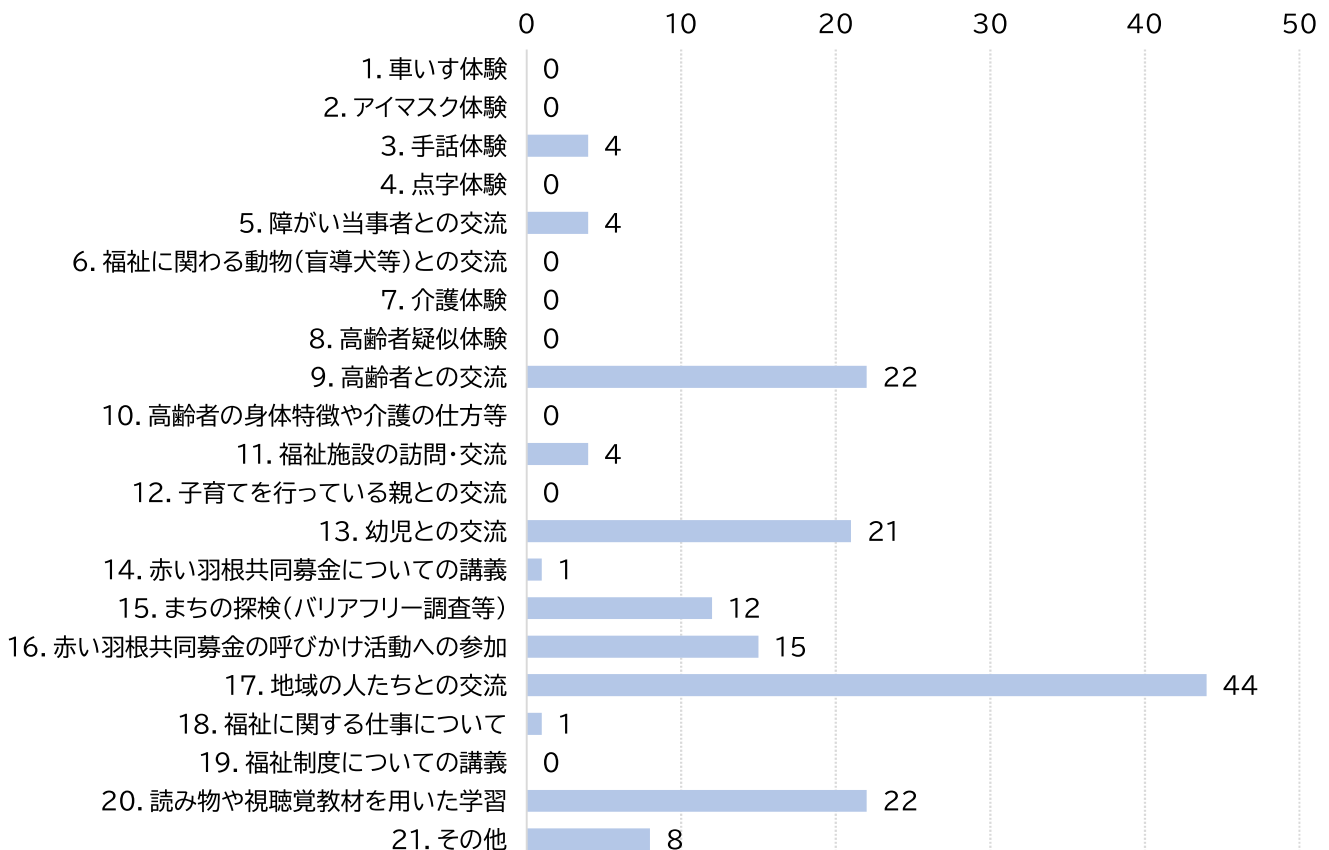
### ● その他

- 1年生** ・ 地域の高齢者への手紙 ・ 手紙による高齢者との交流 ・ パラスポーツ(ボッチャ体験等)  
・ 特別支援学級の理解教育 ・ 地域の敬老会へのプレゼント(はがき)作り
- 2年生** ・ 地域の高齢者への手紙 ・ 手紙による高齢者との交流 ・ パラスポーツ(ボッチャ体験)  
・ 感じ方の違い、助けの求め方(特別支援学級) ・ 高齢者の方への手紙  
・ 助産師さんの出前授業 ・ 地域の敬老会へのプレゼント(はがき)作り
- 3年生** ・ 地域の高齢者への手紙 ・ 手紙による高齢者との交流 ・ 障がい者スポーツの体験 ・ 白杖体験  
・ パラスポーツ(ボッチャ体験) ・ パラリンピック競技調べ ・ 地域の敬老会へのプレゼント(はがき)作り
- 4年生** ・ 地域の高齢者への手紙 ・ 手紙による高齢者との交流 ・ 身体障がい者について ・ 白杖体験  
・ パラスポーツ(ボッチャ体験) ・ 障がい者スポーツの体験 ・ 地域の敬老会へのプレゼント(はがき)作り
- 5年生** ・ ボランティア体験 ・ 手紙による高齢者との交流 ・ パラリンピック ・ 地域の高齢者への手紙  
・ パラスポーツ(ボッチャ体験等) ・ 居住地交流(松江養護学校) ・ 外国ルーツの方との関わり  
・ 地域の敬老会へのプレゼント(はがき)作り
- 6年生** ・ 税金と福祉 ・ 子育て支援の取り組みについて ・ 地域の高齢者への手紙 ・ 子育てと福祉  
・ ボランティア体験 ・ 手紙による高齢者との交流 ・ パラスポーツ(ボッチャ体験) ・ 講話  
・ 地域の施設でのボランティア活動 ・ 地域の敬老会へのプレゼント(はがき)作り  
・ 社会科の学習で松江市の子育て支援センターについての説明をした

### R3福祉学習の内容(1年生)

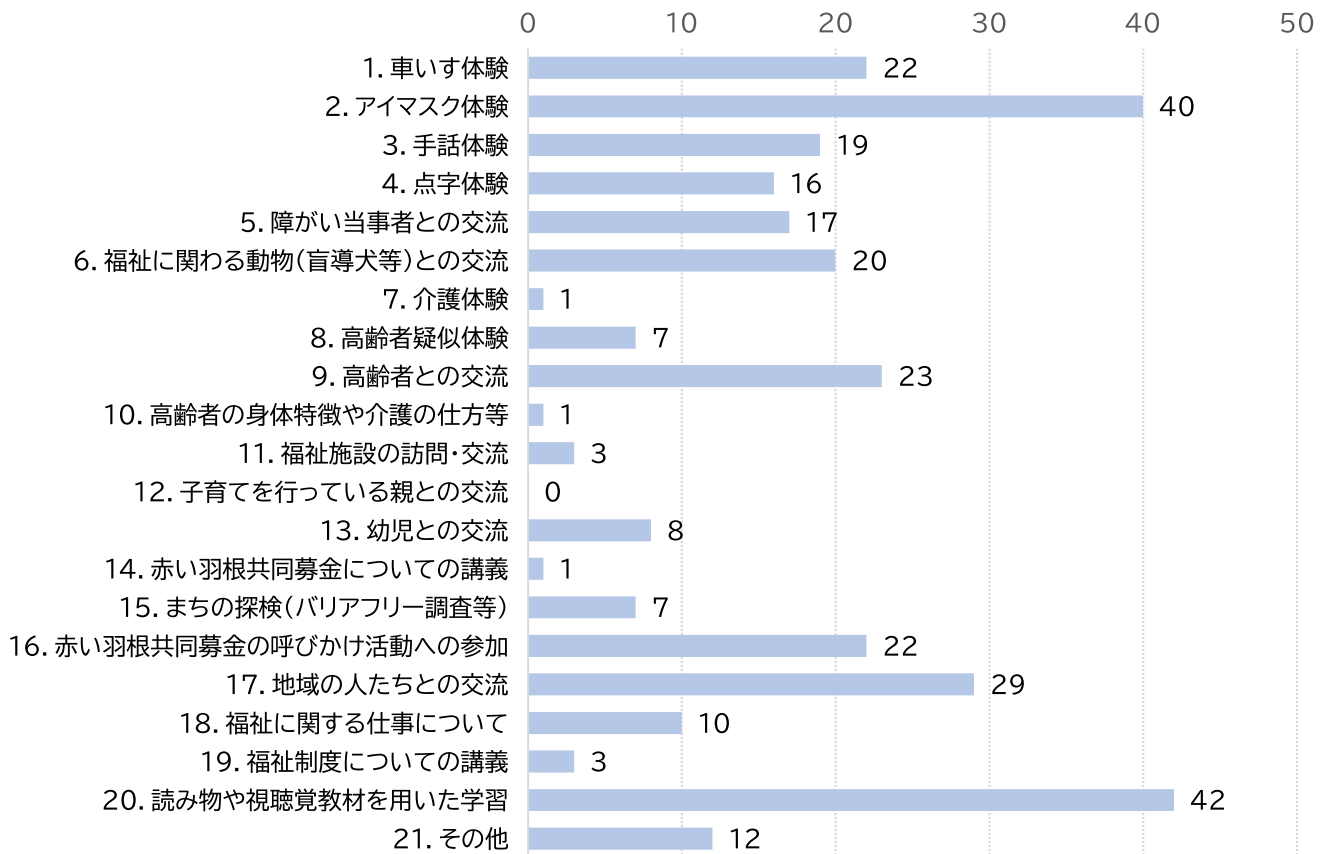


### R3福祉学習の内容(2年生)

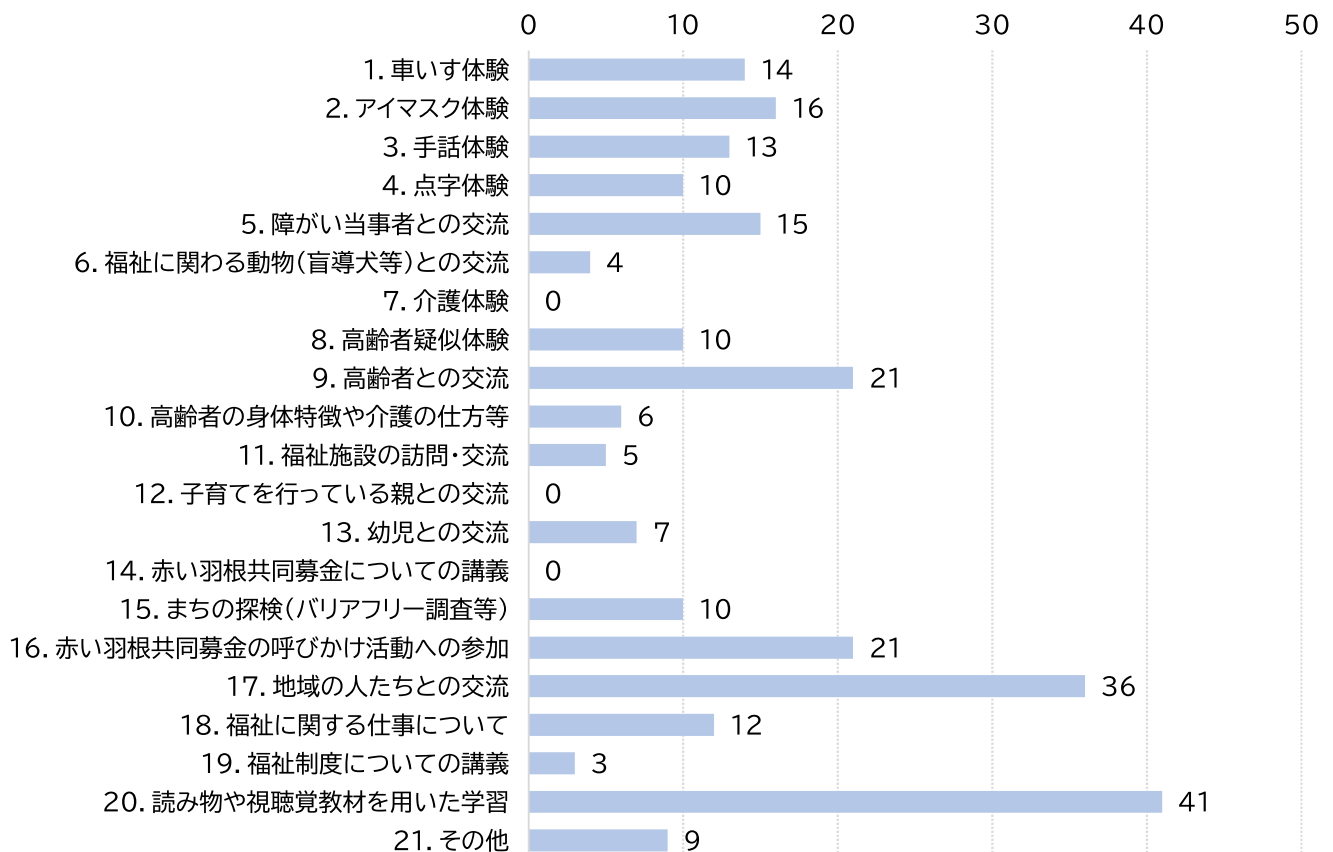




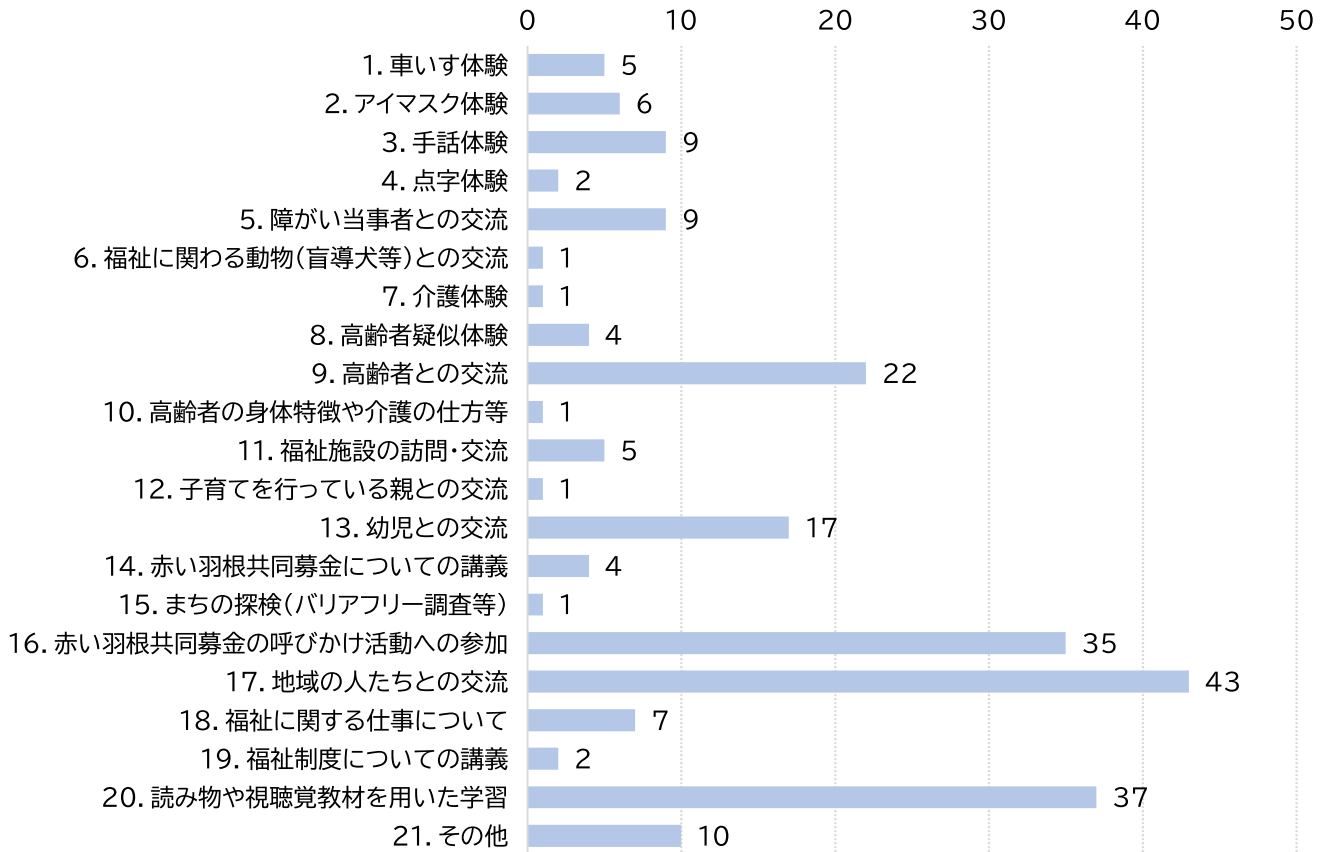
R3福祉学習の内容(3年生)



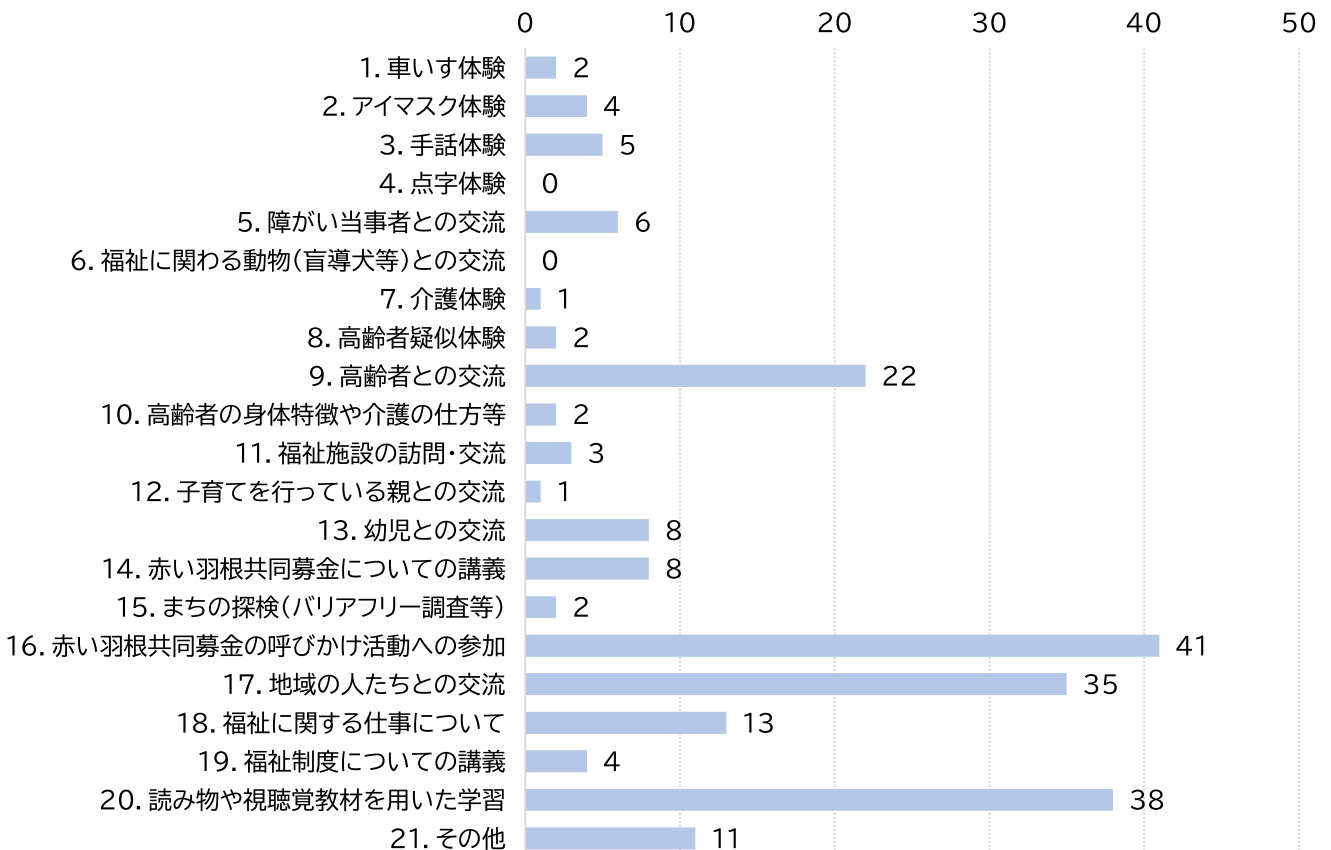
R3福祉学習の内容(4年生)

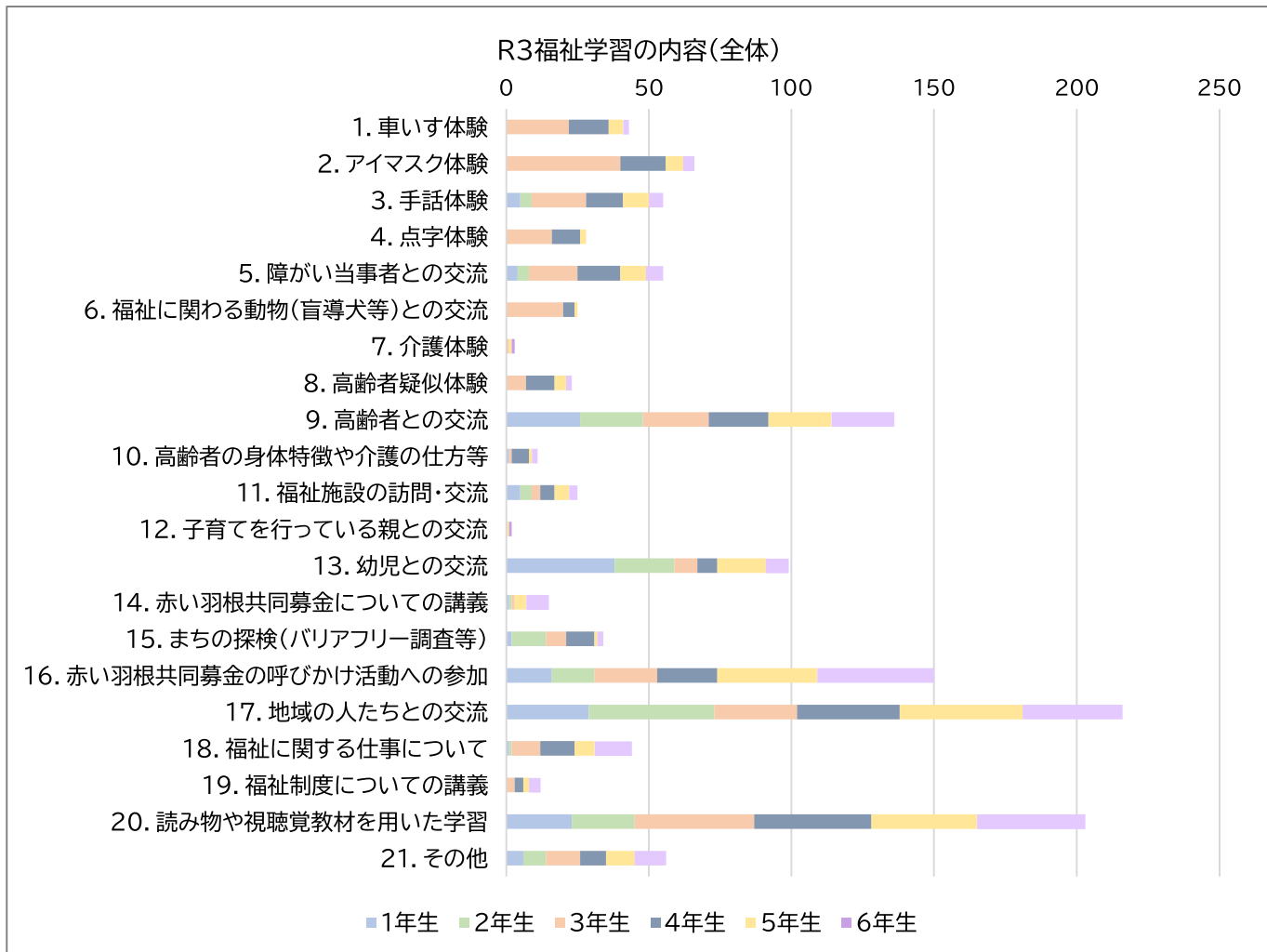


### R3福祉学習の内容(5年生)



### R3福祉学習の内容(6年生)





1年生では、「幼児との交流」「地域の人たちとの交流」「高齢者との交流」が多く、2年生では特に「地域の人たちとの交流」が多くなっています。3、4年生では、全体的に体験を通しての学習が多くなっています。また、「読み物や視聴覚教材を用いた学習」も多く、ついで3年生では「アイマスク体験」、4年生では「地域の人たちとの交流」が多くなっています。5、6年生になると、「赤い羽根共同募金活動への参加」が多く、「地域の人たちとの交流」や「高齢者との交流」が多くなっています。ついで「読み物や視聴覚教材を用いた学習」となっています。

パラリンピックの影響もあり、ボッチャ体験等障がい者スポーツ体験を行った学校も多く見られました。

全体で見ると、「地域の人たちとの交流」がもっとも多く、ついで「読み物や視聴覚教材を用いた学習」「赤い羽根共同募金の呼びかけ活動」となっています。

〈 中 学 校 〉

(校)

No.	項 目	1 年 生	2 年 生	3 年 生
1	車いす体験	5	7	4
2	アイマスク体験	5	5	3
3	手話体験	2	4	1
4	点字体験	0	0	0
5	障がい当事者との交流	3	1	0
6	福祉に関わる動物(盲導犬等)との交流	1	0	0
7	介護体験	1	2	0
8	高齢者疑似体験	6	8	8
9	高齢者との交流	8	10	6
10	高齢者の身体特徴や介護の仕方等	1	8	11
11	福祉施設の訪問・交流	5	3	6
12	子育てを行っている親との交流	4	6	3
13	幼児との交流	5	7	32
14	赤い羽根共同募金についての講義	1	2	2
15	まちの探検(バリアフリー調査等)	2	0	2
16	赤い羽根共同募金の呼びかけ活動への参加	11	12	14
17	地域の人たちとの交流	21	19	24
18	福祉に関する仕事について	9	14	16
19	福祉制度についての講義	2	6	5
20	読み物や視聴覚教材を用いた学習	13	13	15
21	その他	5	3	6

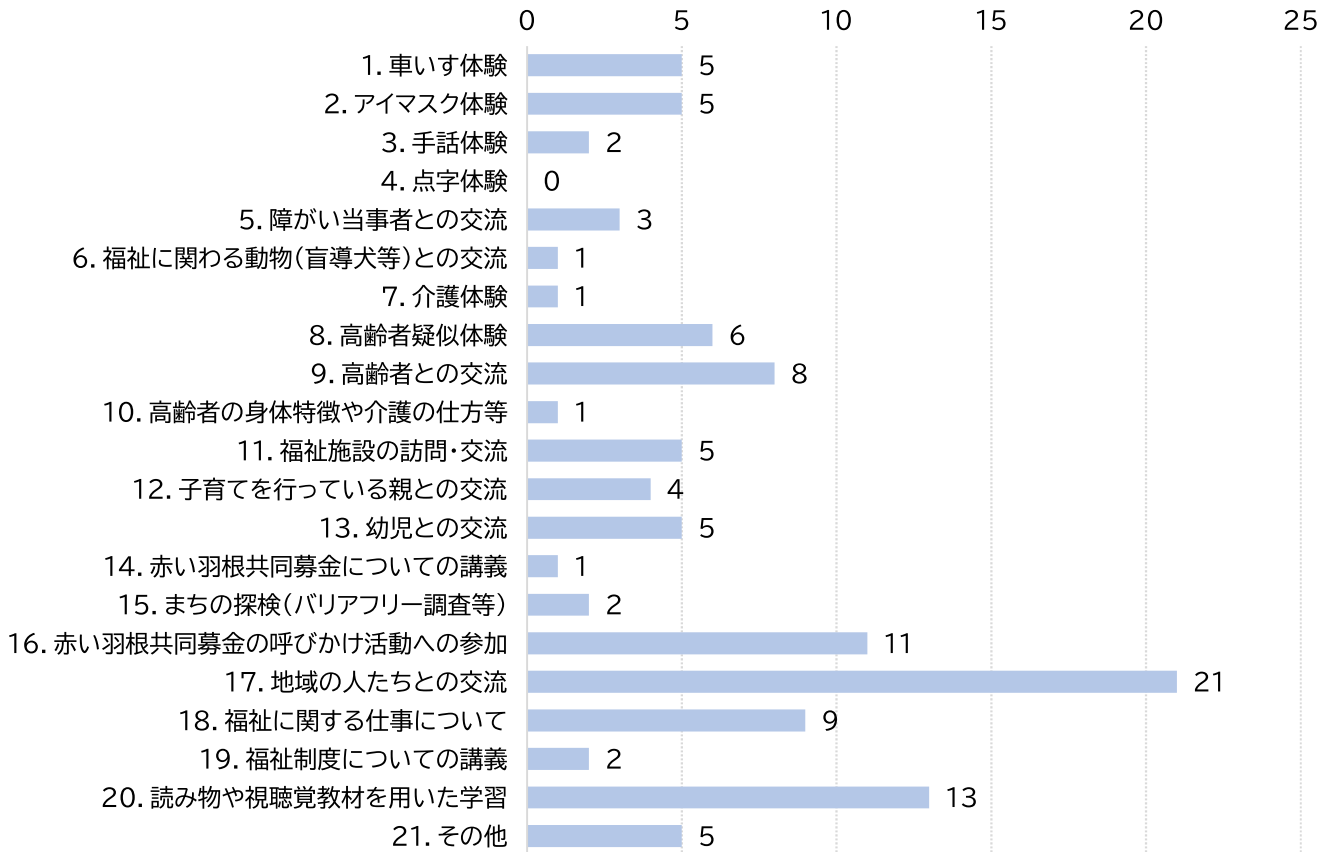
● その他

**1年生** ・ 地域の現状を知り、活性化につなげる取り組みについて考えた ・ 障がい者理解啓発学習  
 ・ 人権学習 ・ シトラスリボン ・ パラリンピックに関する学習

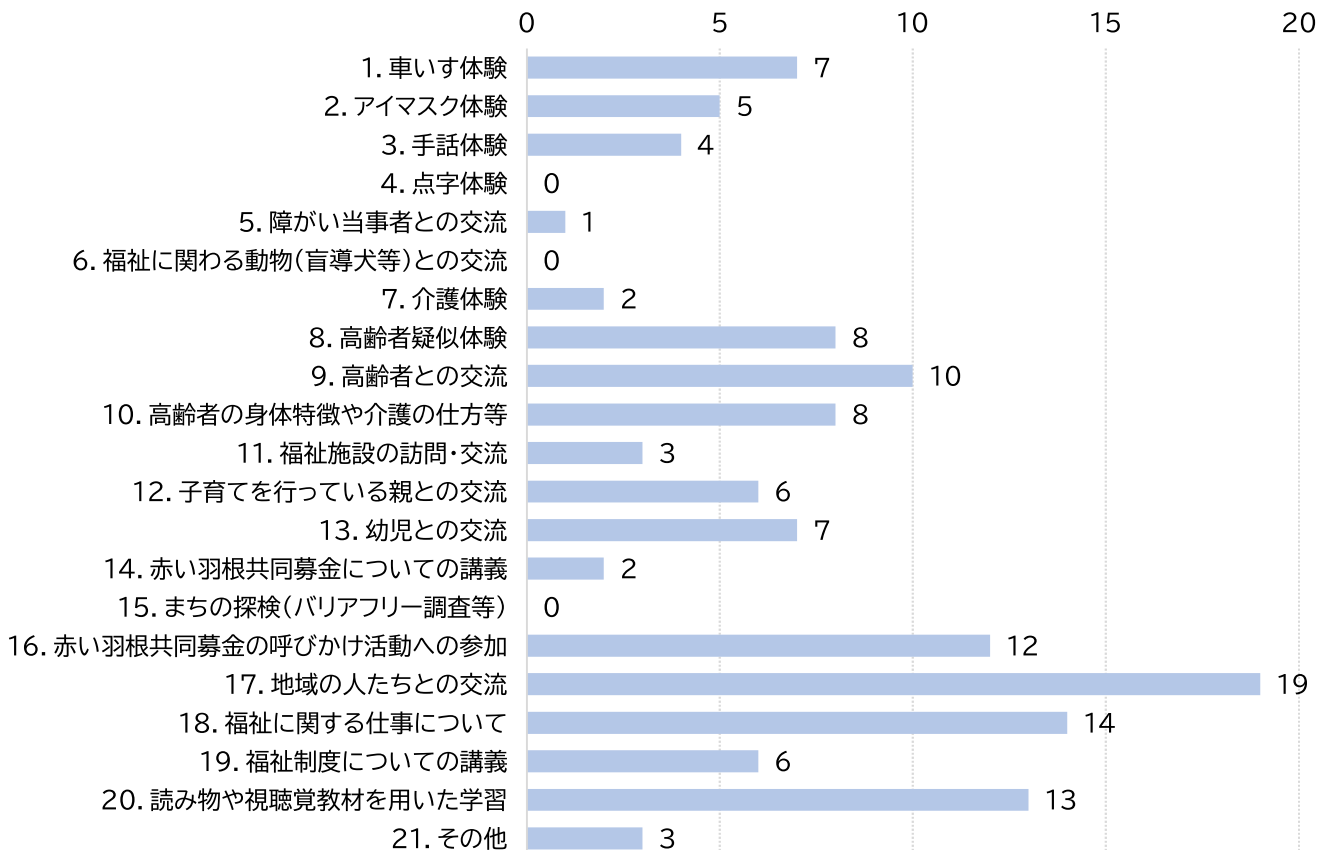
**2年生** ・ 幼児の特徴や、保育・教育のあり方等 ・ 人権学習 ・ シトラスリボン

**3年生** ・ 地域の高齢者向けの体操 DVD を作った ・ シトラスリボン ・ パラリンピックに関する学習  
 ・ 人権学習 ・ SDGs についての学習 ・ 各施設職員による講話、業務、就業への動機

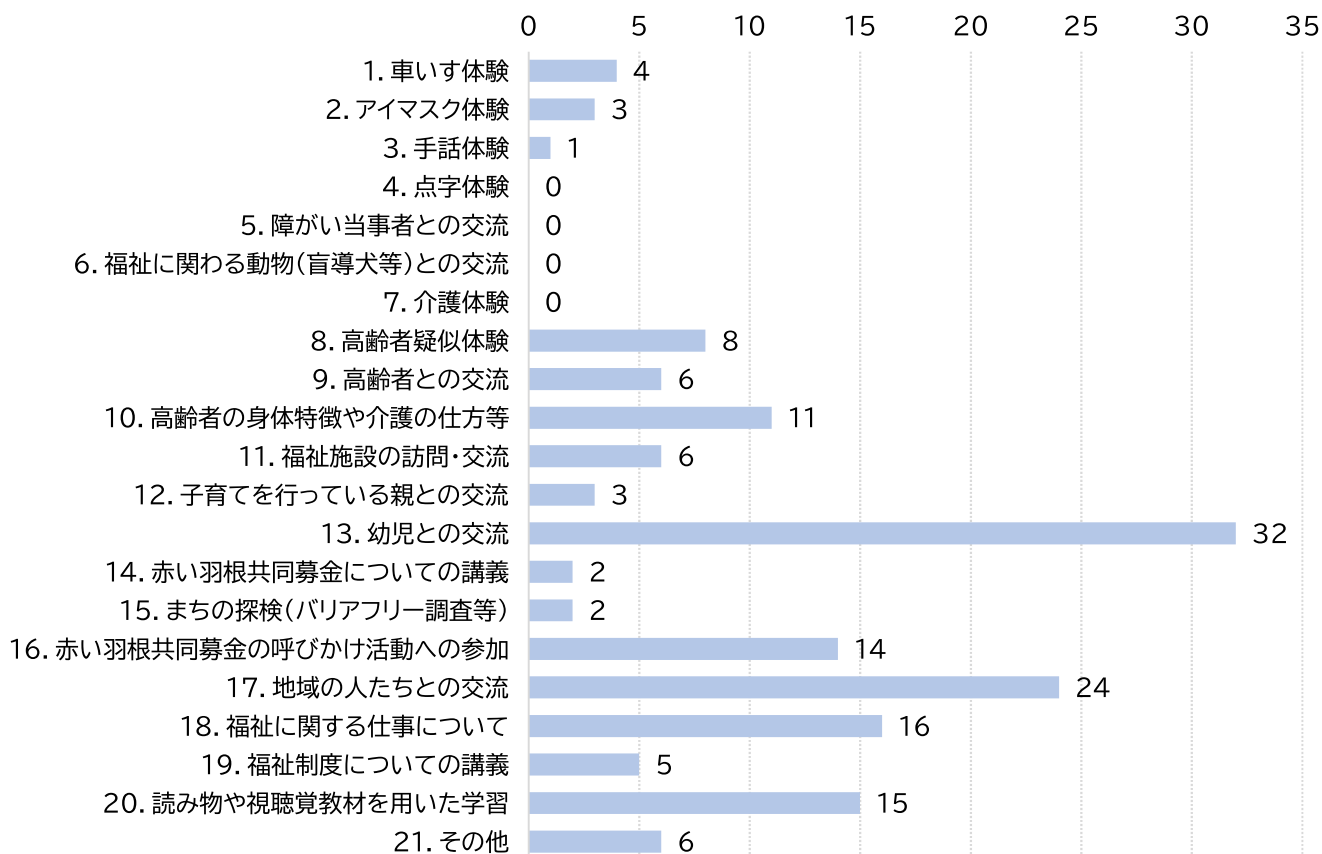
### R3福祉学習の内容(1年生)



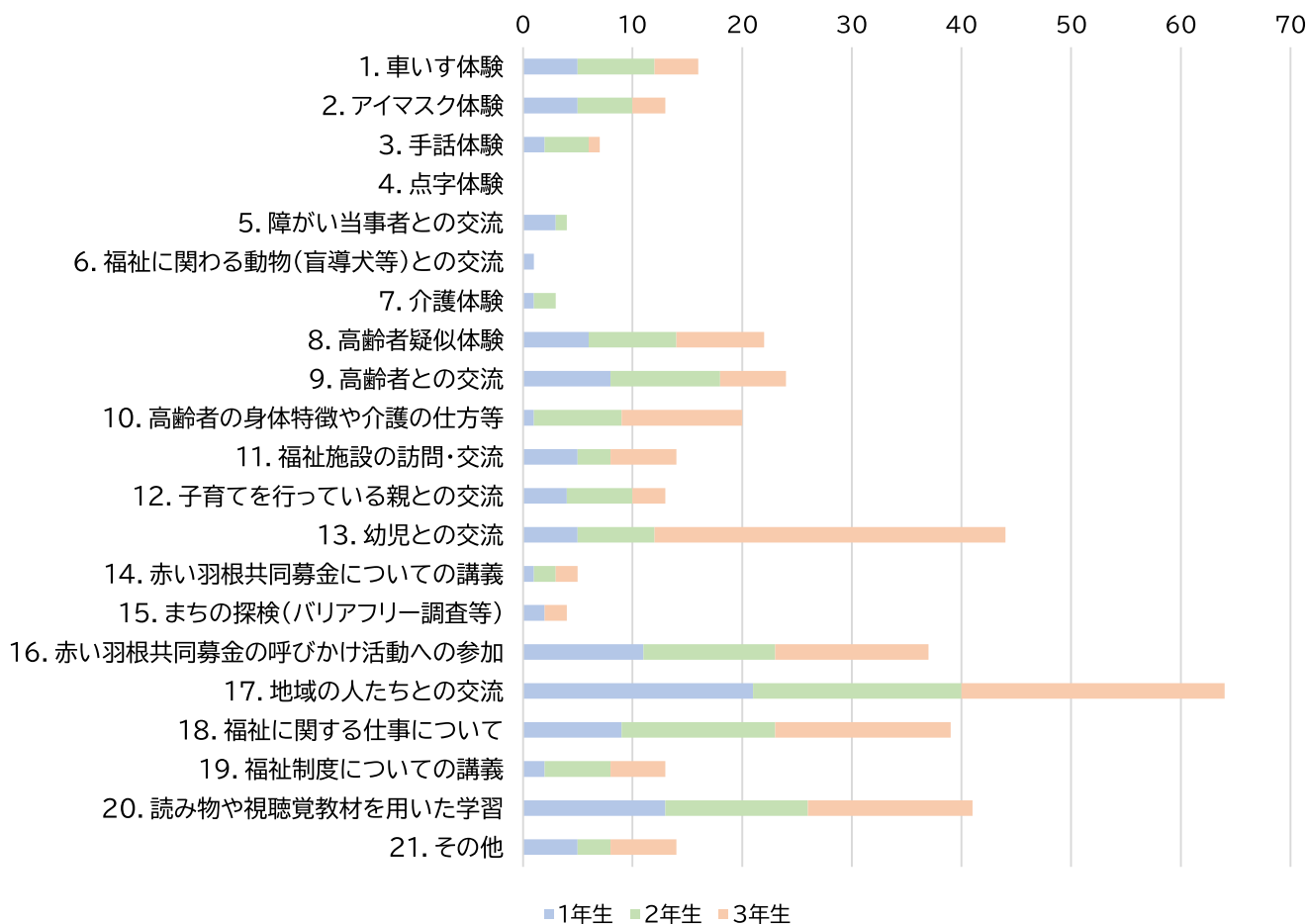
### R3福祉学習の内容(2年生)



R3福祉学習の内容(3年生)



R3福祉学習の内容(全体)



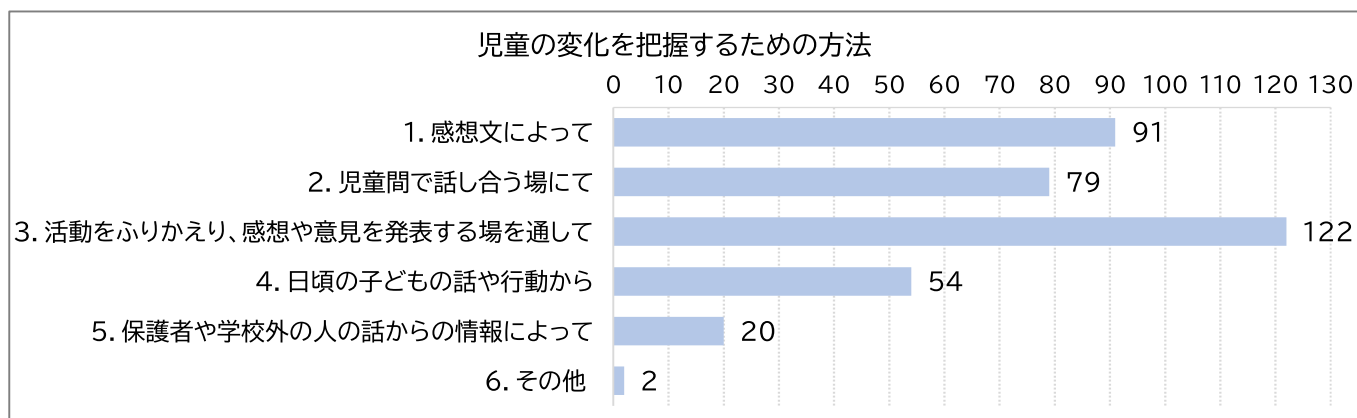
1、2年生は「地域の人たちとの交流」が多く、3年生は「幼児との交流」が多くなっています。ついで多いのが、1年生では「読み物や視聴覚教材を用いた学習」、2年生では「福祉に関する仕事」、3年生では「地域の人たちとの交流」となっています。

小学校と同様、パラリンピックに関する学習を実践した学校もありました。中には、地域の現状をふまえて活性化につなげる検討を行った学校や、高齢者向けDVDの作成など、具体的な実践につなげた学校も見られました。

全体で見ると、「地域の人たちとの交流」が最も多く、ついで「幼児との交流」「読み物や視聴覚教材を用いた学習」となっています。

## 7. 福祉学習を実施した際の児童・生徒の変化を把握するための方法について（複数回答可）

### 〈小学校〉



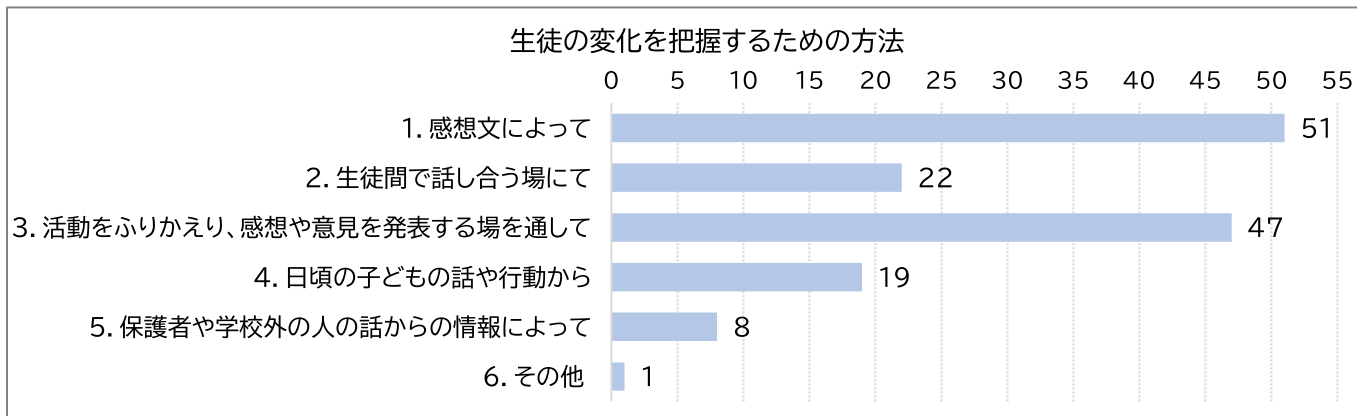
#### ● その他

- ・ ワークシート
- ・ ICT を使ったまとめから

「感想や意見を発表する場を通して児童の変化を知る」学校が多く、ついで「感想文によって」「児童間で話し合う場にて」となっています。

### 〈中学校〉

(校)



#### ● その他

- ・ 文化祭にてスライドなどを活用したプレゼン

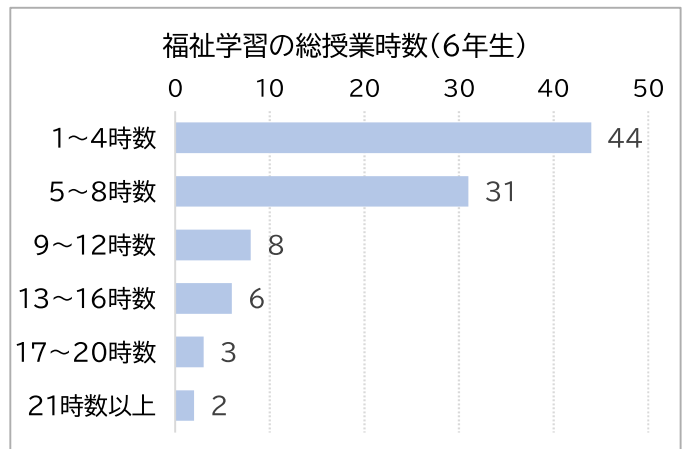
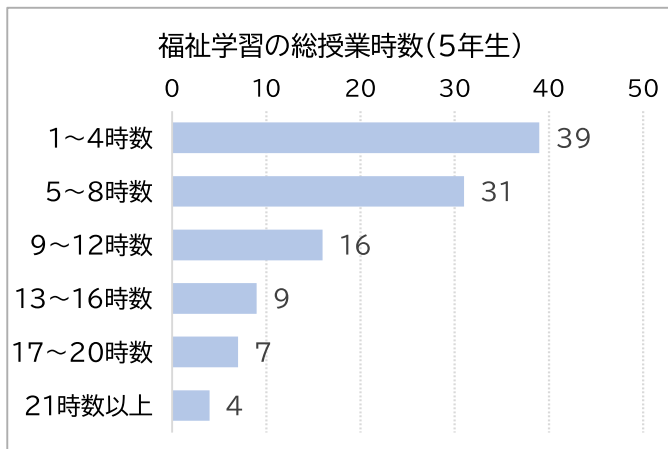
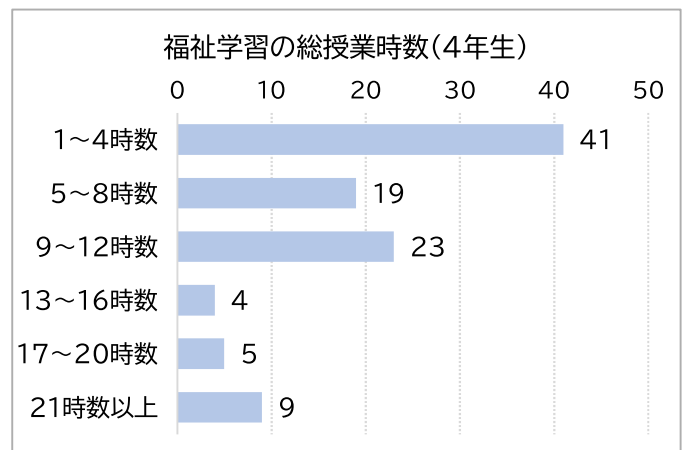
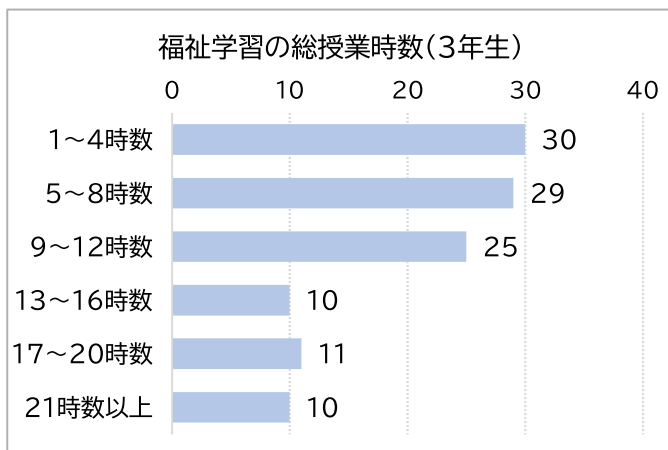
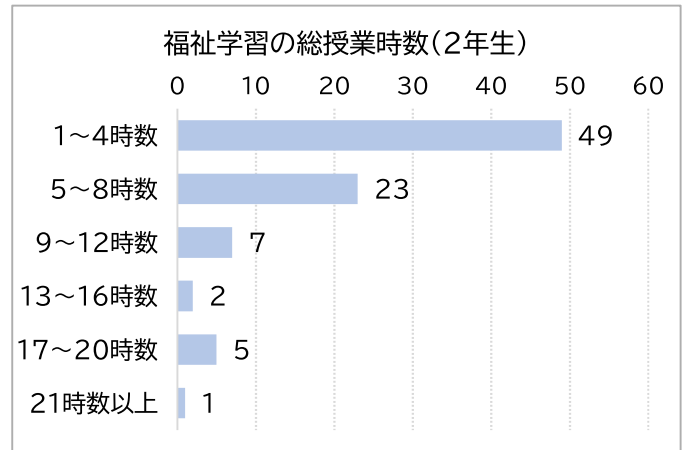
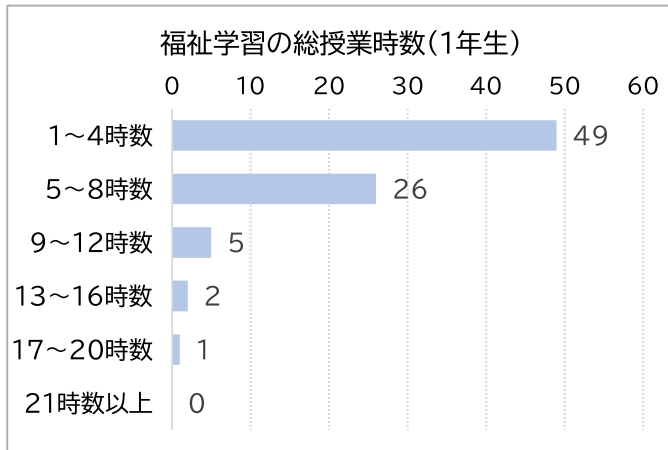
「感想文によって」変化を把握している学校が多く、ついで「感想や意見を発表する場を通して」となっています。

## 8. 福祉学習の総授業時数について

### 〈 小 学 校 〉

(校)

No.	項 目	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1	1～4時数	49	49	30	41	39	44
2	5～8時数	26	23	29	19	31	31
3	9～12時数	5	7	25	23	16	8
4	13～16時数	2	2	10	4	9	6
5	17～20時数	1	5	11	5	7	3
6	21時数以上	0	1	10	9	4	2



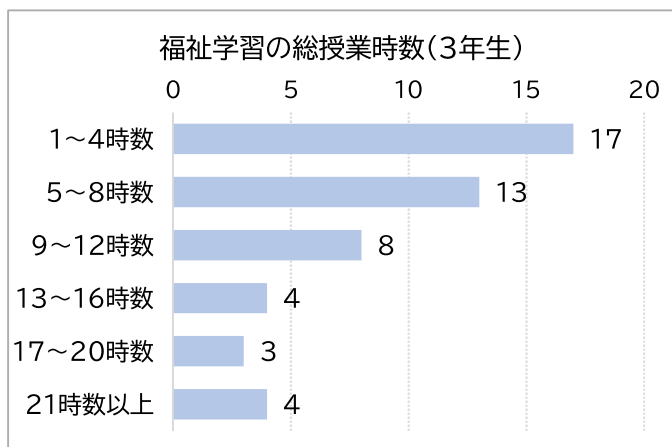
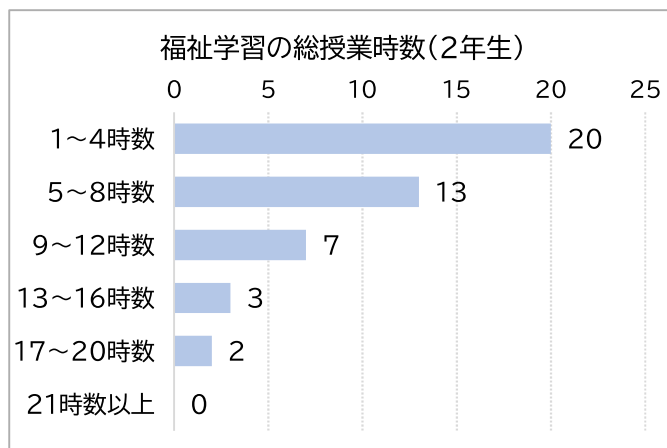
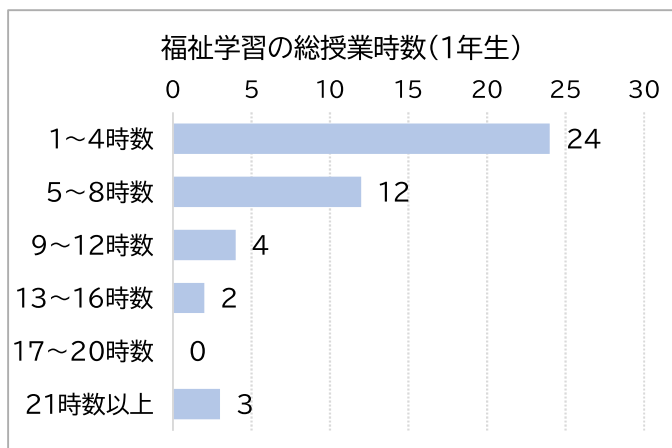
全体的に、「1～4時数」が最も多く、ついで「5～8時数」となっています。特に3、4年生については、他の学年と比較して多くの時間数を使って福祉学習に取り組んでいます。



〈 中 学 校 〉

(校)

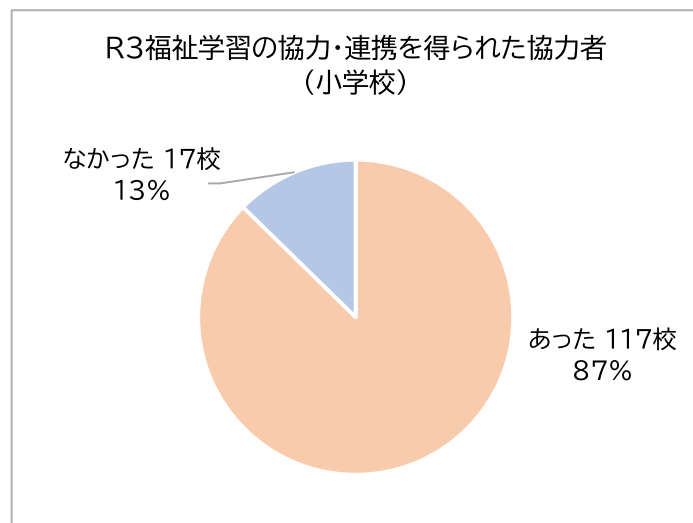
No.	項 目	1 年 生	2 年 生	3 年 生
1	1～4時数	24	20	17
2	5～8時数	12	13	13
3	9～12時数	4	7	8
4	13～16時数	2	3	4
5	17～20時数	0	2	3
6	21時数以上	3	0	4



全ての学年において、「1～4時数」が最も多くなっています。特に 3 年生においては、21 時数以上と回答した学校が 4 校ありました。

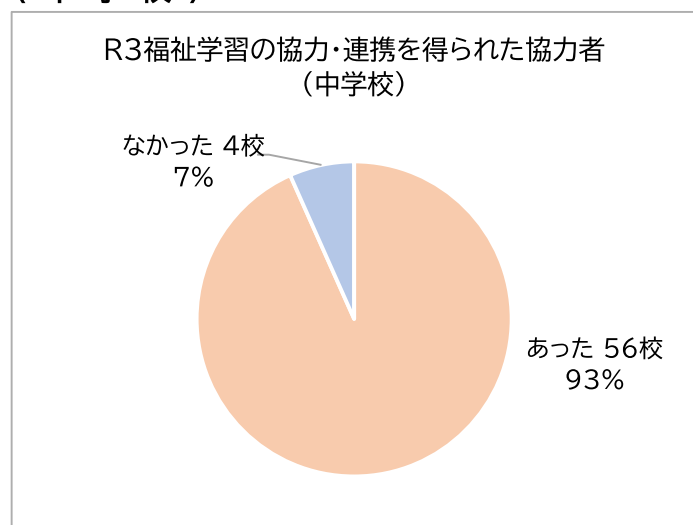
## 9. 福祉学習を実施した際に協力・連携を得られた学外の協力者の有無について

### 〈 小 学 校 〉



福祉学習の実践にあたって、87%の学校が学外の協力者に協力をいただき実践していますが、13%の学校は、学校単独での実践となっています。

### 〈 中 学 校 〉



93%の学校が、学外の協力者に協力をいただき実践しています。学外の協力者がなかったとした学校は4校でした。

## 10. 福祉学習を実施した際に協力・連携を得られた学校外の協力者について

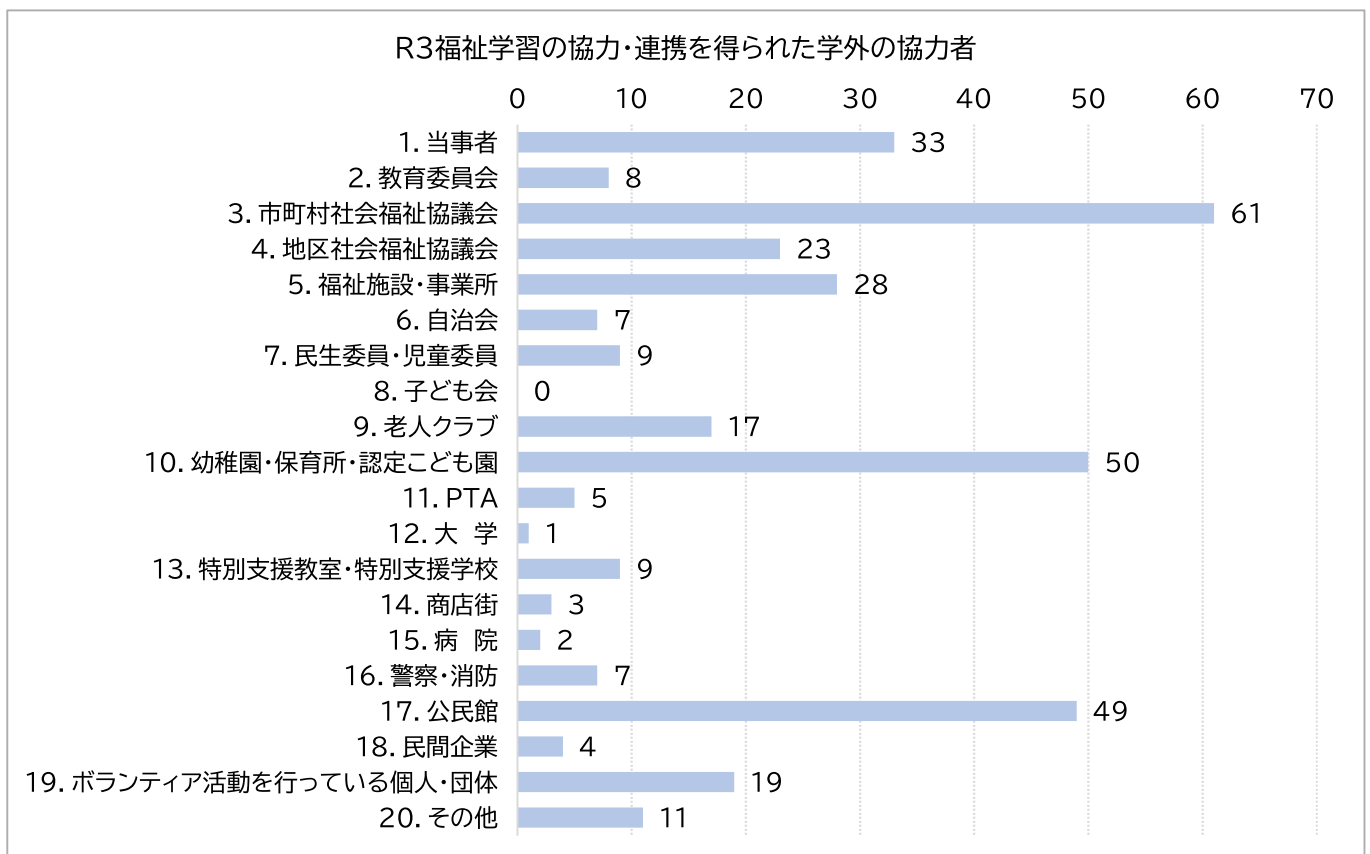
### 〈 小 学 校 〉

(校)

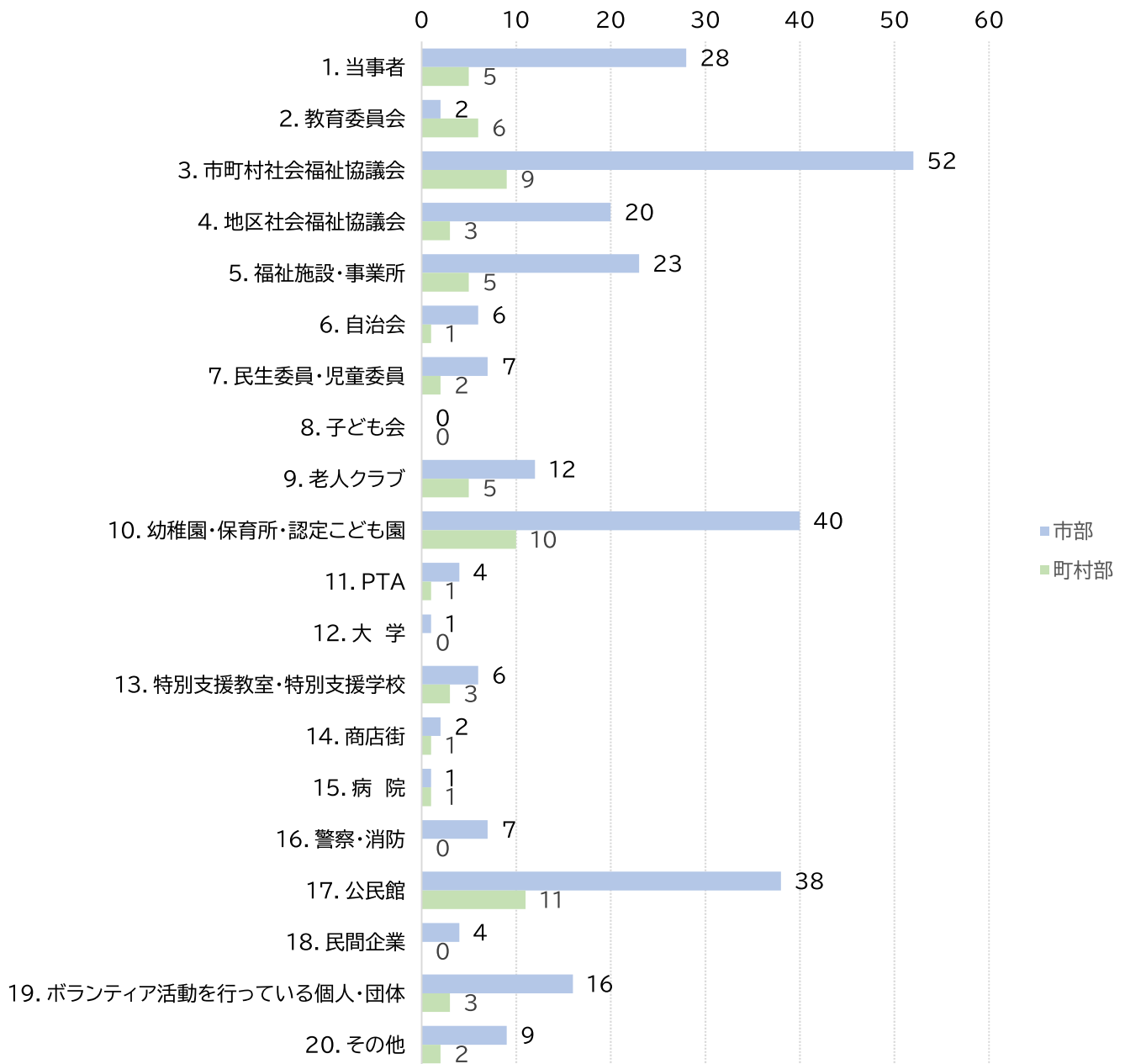
No.	項 目	回 答 数		
		計	市	町村
1	当事者	33	28	5
2	教育委員会	8	2	6
3	市町村社会福祉協議会	61	52	9
4	地区社会福祉協議会	23	20	3
5	福祉施設・事業所	28	23	5
6	自治会	7	6	1
7	民生委員・児童委員	9	7	2
8	子ども会	0	0	0
9	老人クラブ	17	12	5
10	幼稚園・保育所・認定こども園	50	40	10
11	PTA	5	4	1
12	大 学	1	1	0
13	特別支援教室・特別支援学校	9	6	3
14	商店街	3	2	1
15	病 院	2	1	1
16	警察・消防	7	7	0
17	公民館	49	38	11
18	民間企業	4	4	0
19	ボランティア活動を行っている個人・団体	19	16	3
20	その他	11	9	2

### ● その他

- ・ 市役所 ・ 図書館 ・ 市福祉推進課 ・ 助産師 ・ 地域の戦争体験者 ・ 地域のコミセン
- ・ ユニセフ日本委員会 ・ 地区環境保全の会 ・ 人権擁護委員協議会 ・ 地域コーディネーター
- ・ 子育て支援センター ・ 島根県社会福祉協議会 ・ 島根県障害者スポーツ協会 ・ 専門学校



R3福祉学習の協力・連携を得られた学外の協力者（市部・町村部比較）



学外の協力者として、「市町村社協」が最も多く、ついで「幼稚園・保育所・認定こども園」「公民館」となっています。

市部・町村部で比較すると、市部では「市町村社協」が最も多くなっていますが、町村部では「公民館」が最も多くなっています。

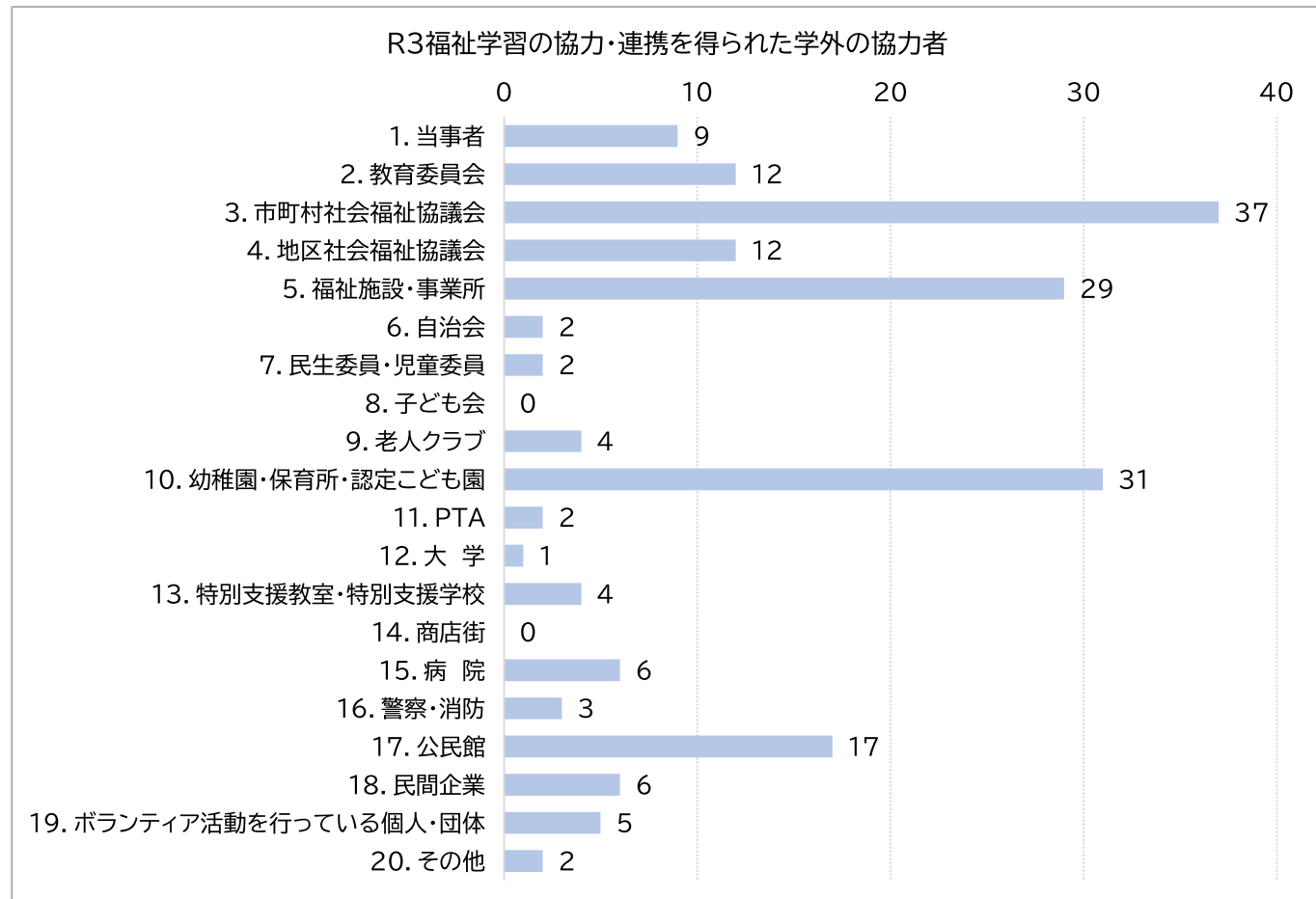
〈 中 学 校 〉

(校)

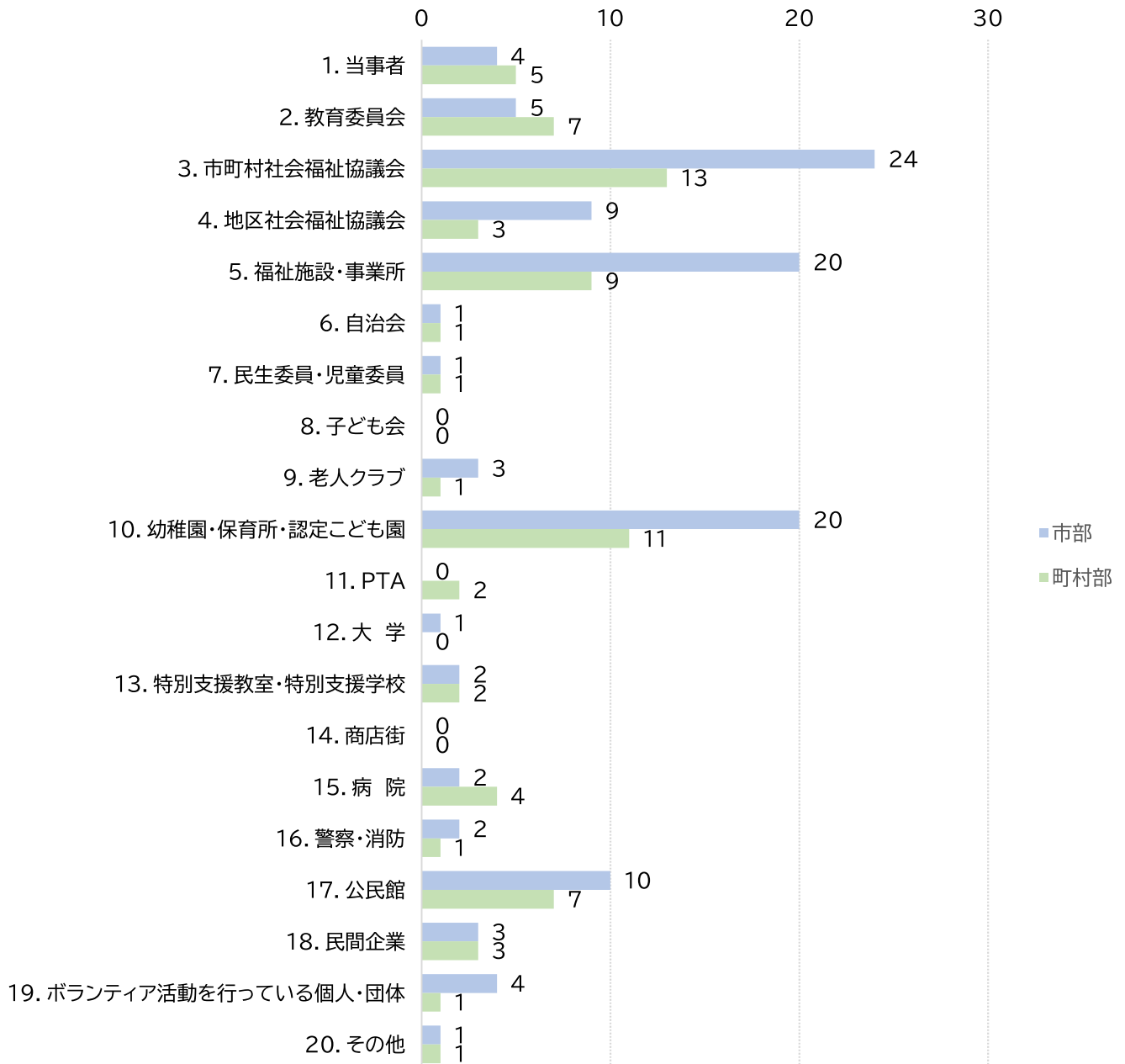
No.	項 目	回 答 数		
		計	市	町村
1	当事者	9	4	5
2	教育委員会	12	5	7
3	市町村社会福祉協議会	37	24	13
4	地区社会福祉協議会	12	9	3
5	福祉施設・事業所	29	20	9
6	自治会	2	1	1
7	民生委員・児童委員	2	1	1
8	子ども会	0	0	0
9	老人クラブ	4	3	1
10	幼稚園・保育所・認定こども園	31	20	11
11	PTA	2	0	2
12	大 学	1	1	0
13	特別支援教室・特別支援学校	4	2	2
14	商店街	0	0	0
15	病 院	6	2	4
16	警察・消防	3	2	1
17	公民館	17	10	7
18	民間企業	6	3	3
19	ボランティア活動を行っている個人・団体	5	4	1
20	その他	2	1	1

● その他

- ・ あいサポーター
- ・ SSW



R3福祉学習の協力・連携を得られた学外の協力者（市部・町村部比較）



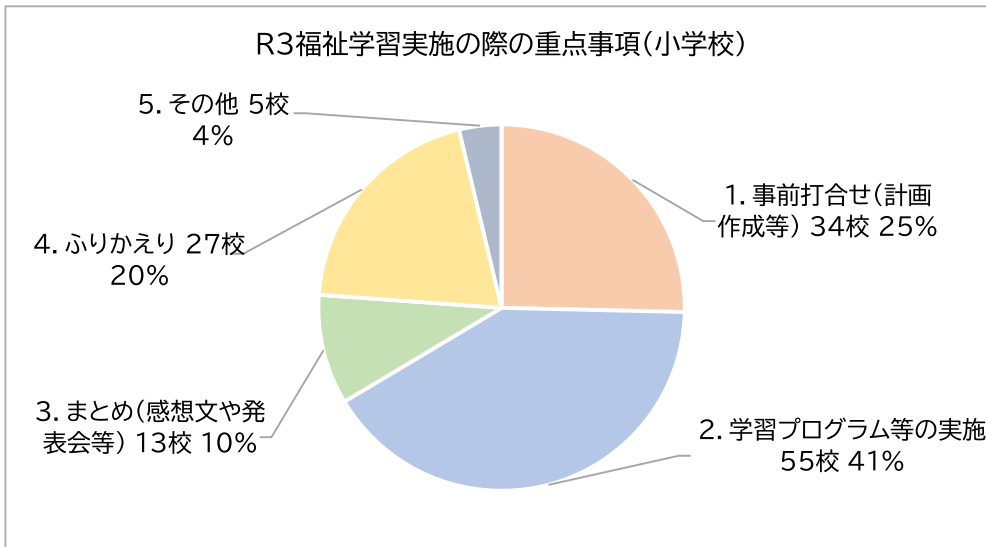
最も多いのは「市町村社協」、ついで「幼稚園・保育所・認定こども園」「福祉施設・事業所」となっています。

中学校では、高齢者理解をテーマに、高齢者との交流や疑似体験を行う学校が多く、福祉施設等の協力を得ながら福祉学習を行っていることがわかりました。

市部、町村部とも、「市町村社協」が最も多くなっています。

## 11. 福祉学習を実施する際に最も重点を置いていることについて

### 〈 小 学 校 〉

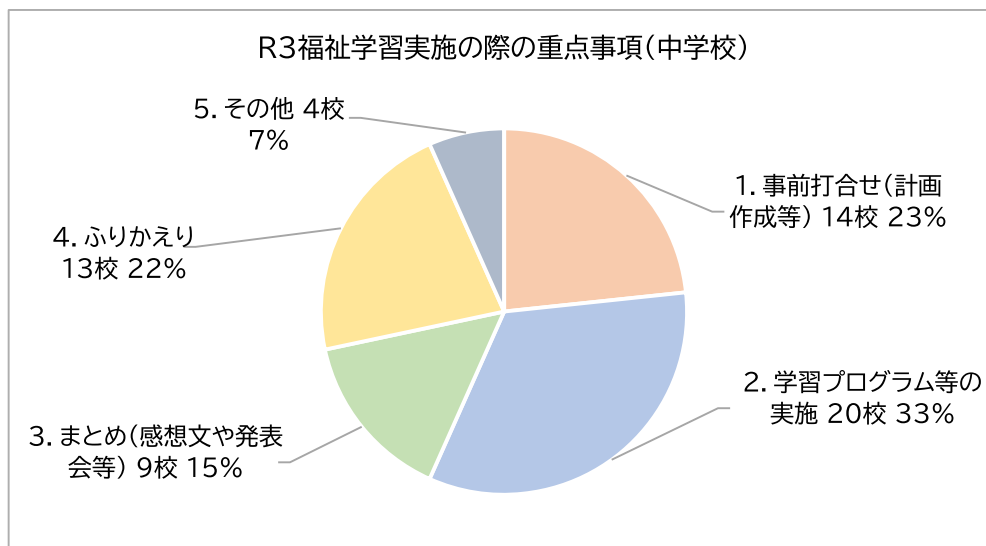


#### ● その他

- ・ 事前打合せ、学習プログラムの実施
- ・ 事前打合せ、学習プログラムの実施、ふりかえり
- ・ 目的
- ・ 学習プログラムの実施、まとめ、ふりかえり
- ・ 学びをどう活かすか

41%の学校が、「学習プログラム等の実施」に最も重点を置いていました。ついで、「事前打合せ」「ふりかえり」となっています。

### 〈 中 学 校 〉



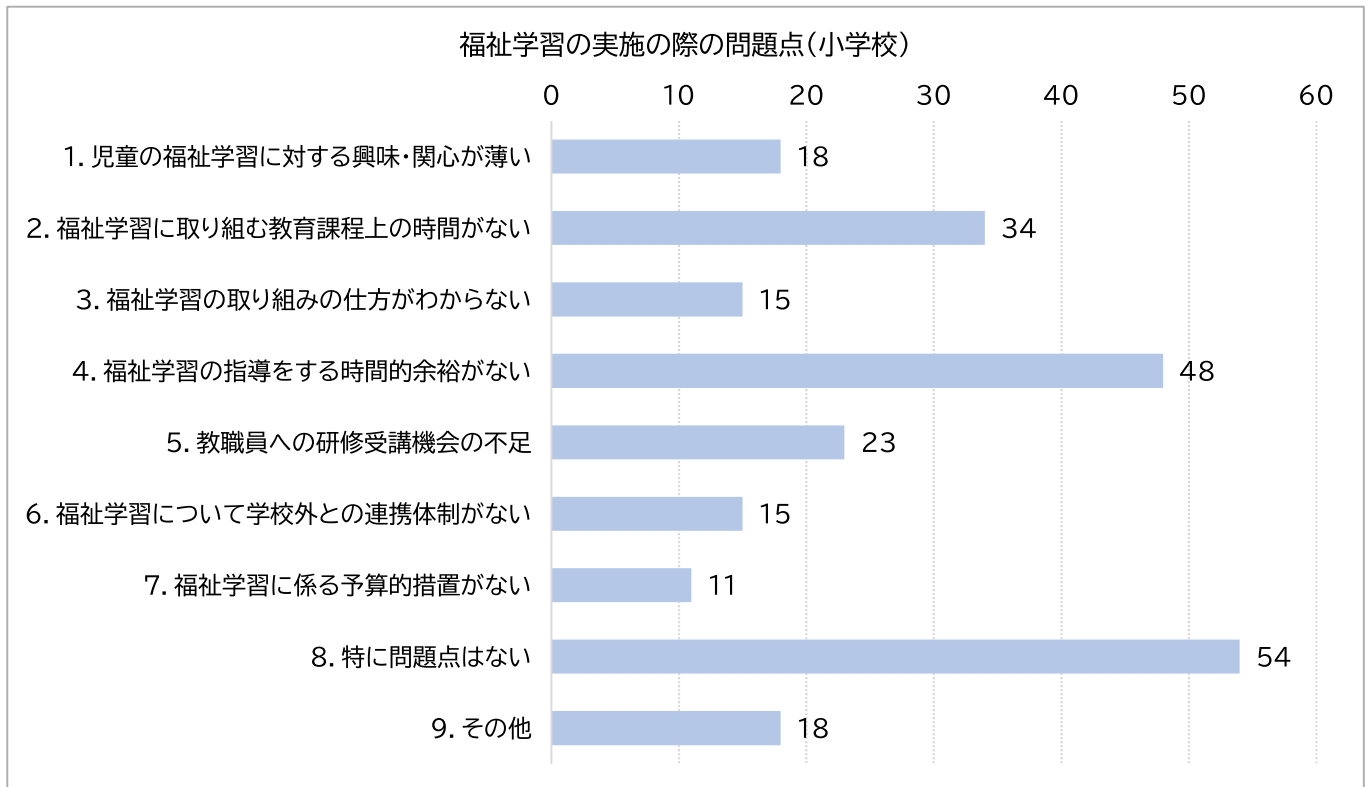
#### ● その他

- ・ 事前打合せとふりかえり
- ・ 事前打合せと学習プログラム等の実施
- ・ どれも大切
- ・ 学習活動の充実

中学校においても、「学習プログラム等の実施」に最も重点を置いていると回答した学校が多かったです。ついで、「事前打合せ」「ふりかえり」となっています。

## 12. 福祉学習を実施する際の問題点等について（複数回答可）

### 〈 小 学 校 〉



#### ● その他

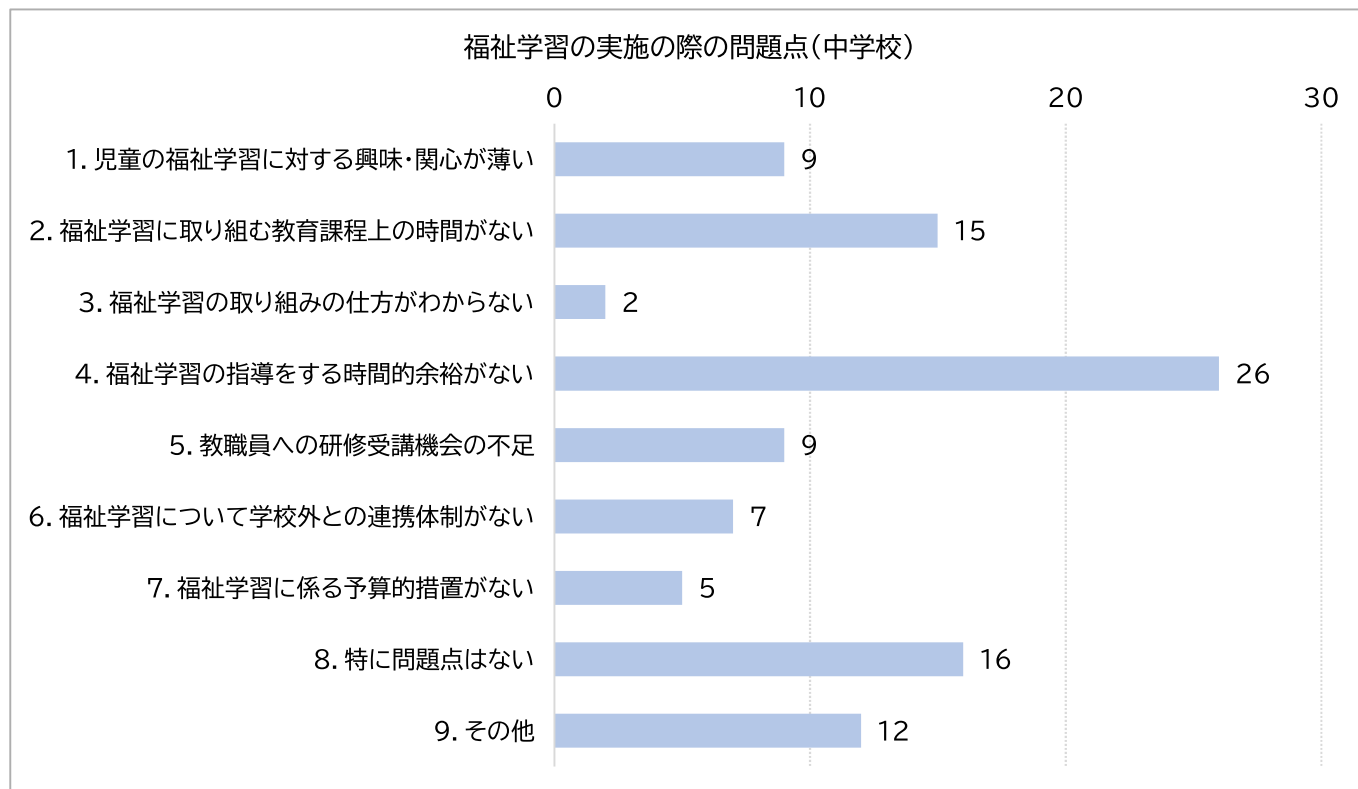
- ・ コロナ感染症のため直接話を聞く機会が持ちにくい
- ・ コロナ感染予防のため、高齢者施設等に訪問できない
- ・ コロナの関係で、活動が制約される
- ・ コロナ感染対策
- ・ コロナ対策上の制限
- ・ コロナ対応
- ・ コロナ禍による交流や活動の制限
- ・ 新型コロナウイルス感染症の状況により計画した活動ができなかった
- ・ コロナ禍による、人(高齢者等)とのかかわりの場が減った
- ・ コロナ禍で外部との交流自粛
- ・ 交流、訪問系はコロナ禍のため、思うように動けなかった
- ・ コロナ感染拡大によって交流が制限された
- ・ コロナ感染症流行のため、直接話を聞く機会が持ちにくい
- ・ コロナ禍のため外部関係機関との連携が困難
- ・ コロナで交流先の受け入れが難しい
- ・ 現在はコロナウイルス感染症の影響により実施できていない
- ・ コロナ対応で、予定していた学習で実施できないものがあった
- ・ 打ち合せ時間の確保
- ・ 学校外との学習過程のすり合わせが難しい

「特に問題点はない」と回答した学校が最も多く、54校でした。一方で、「福祉学習の指導をする時間的余裕がない」「福祉学習に取り組む教育課程上の時間がない」と回答した学校も多く、時間的な問題を抱えていることがうかがえます。その他、「福祉学習の取り組みの仕方がわからない」「福祉学習について学校外との連携体制がない」と回答した学校がそれぞれ15校ありました。

また、コロナ感染拡大による活動の中止や縮小、変更をしている学校も多く見られました。



## 〈 中 学 校 〉



### ● その他

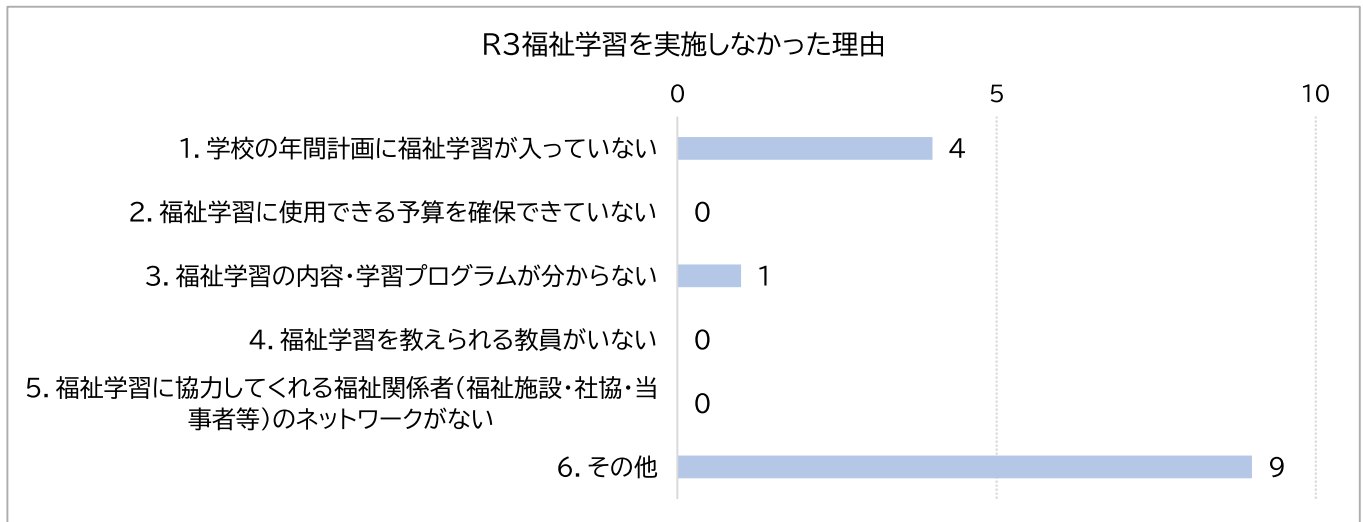
- ・ コロナ禍で施設などの受け入れや関わりが難しい
- ・ 新型コロナウイルス対策で交流事業がしづらい
- ・ コロナ対応、対策
- ・ コロナ禍
- ・ 感染症の問題で以前できていた学習がやりにくくなっている
- ・ 計画していてもコロナウイルス感染症の影響で実施できなかった活動がある
- ・ コロナ禍で、受け入れが難しい状況がある
- ・ 福祉学習に関する横断的計画を立てたい
- ・ 交流活動を行いたいが、受け入れが難しいことが多い
- ・ 人手不足

中学校においては、「福祉学習の指導をする時間的余裕がない」と回答した学校が最も多く 26 校でした。ついで「特に問題点はない」「福祉学習に取り組む教育課程上の時間がない」となっています。

小学校と同様に、時間的な問題を抱えていることがわかりました。

## 13. 福祉学習を実施しなかった理由について（複数回答可）

### 〈 小 学 校 〉

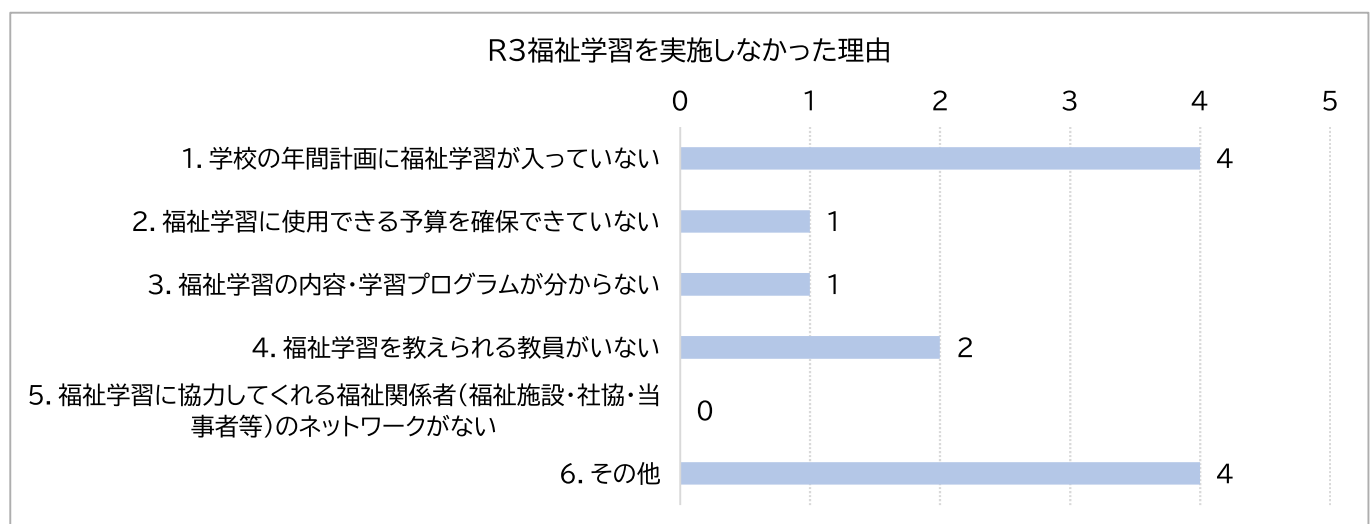


#### ● その他

- ・ コロナ渦で福祉関係施設の受け入れが困難であるため ・ 協力先がコロナ対策で断ってきたため
- ・ コロナ禍により近隣の保育所や福祉施設との交流が実施できなかったため
- ・ 前は、老人ホームへの慰問などを含めた福祉教育も行っていたが、コロナ感染症が広まってから行っていない。
- ・ 今から実施する予定、計画中 ・ 複式のため、隔年で福祉学習を行っているため
- ・ 複式学級であるため、平和学習と福祉教育を隔年で(交互に)行っている
- ・ 学園創立1年目であったため(R4年度は5年生が福祉教育を総合的な学習で取り組んでいる)
- ・ 3・4年生の総合的な学習の時間に福祉について学ぶ機会があるが、本校は中学年が複式学級のため、今年度のカリキュラムになかったため。
- ・ 福祉学習の内容・学習プログラムが分からない。

福祉学習を実施しなかった小学校は11校でしたが、その理由として「学校の年間計画に福祉学習が入っていない」とした学校が4校でした。コロナ感染拡大の問題も見られますが、「福祉学習の内容・学習プログラムが分からない」といった意見もありました。

### 〈 中 学 校 〉



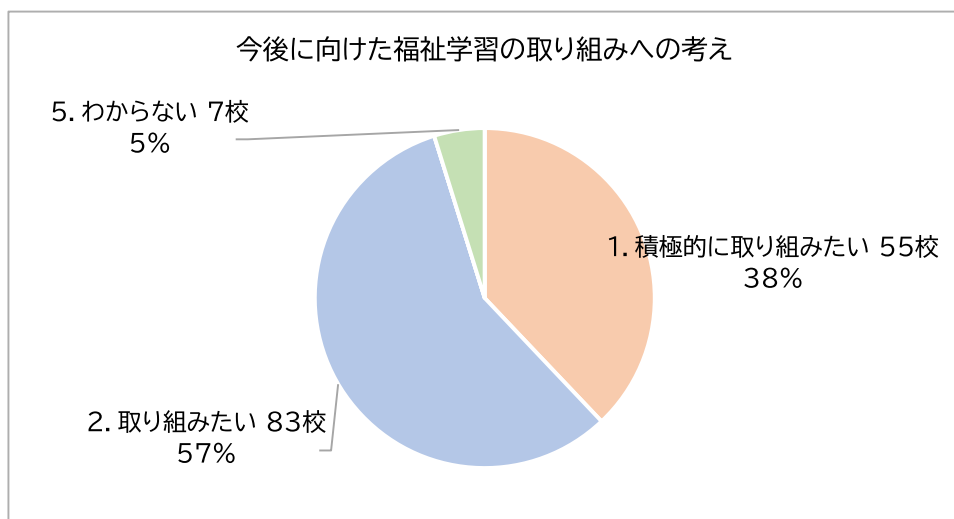
● その他

- ・ コロナ禍で例年行っている学習内容を行うことができなかった
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の懸念のため ・ コロナにより他校との交流を中止した
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、高齢者施設訪問がなくなり、併せて行っていた福祉学習もなくなった。

福祉学習をしなかった中学校は 8 校でしたが、小学校と同様に「学校の年間計画に福祉学習が入っていない」と回答した学校が多かったです。また、コロナ感染拡大による中止等を理由にあげている学校も多く見られました。

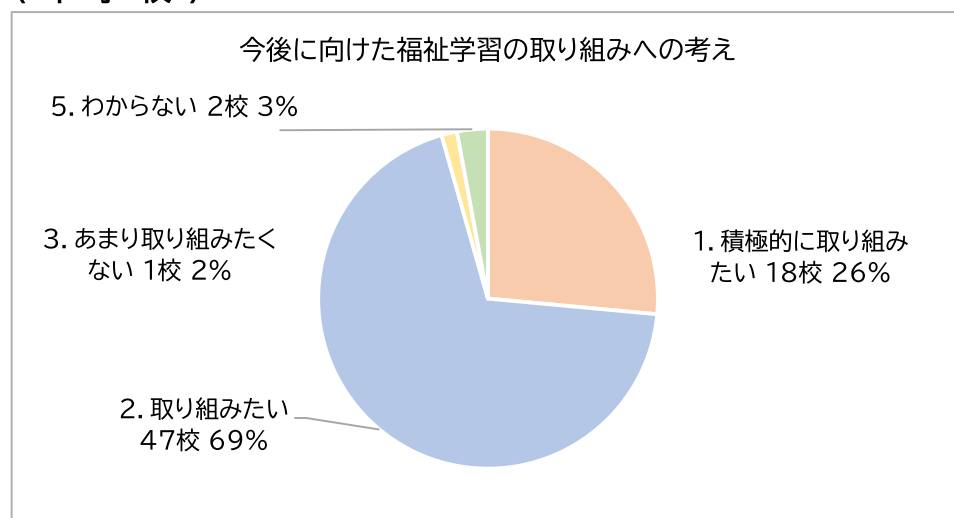
## 14. 今後に向けた福祉学習の取り組みへの考えについて

### 〈 小 学 校 〉



「積極的に取り組みたい」と回答した学校が 38%、「取り組みたい」が 57%と、ほとんどの学校が福祉学習への取り組みに前向きであることがわかりました。

### 〈 中 学 校 〉



「積極的に取り組みたい」と回答した学校が 26%、「取り組みたい」が 69%と、ほとんどの学校が福祉学習への取り組みに前向きであることがわかった。また、「あまり取り組みたくない」とした学校が 1 校ありました。

## 15. 【14】で「3.あまり取り組みたくない」「4.取り組む予定はない」を選択した理由

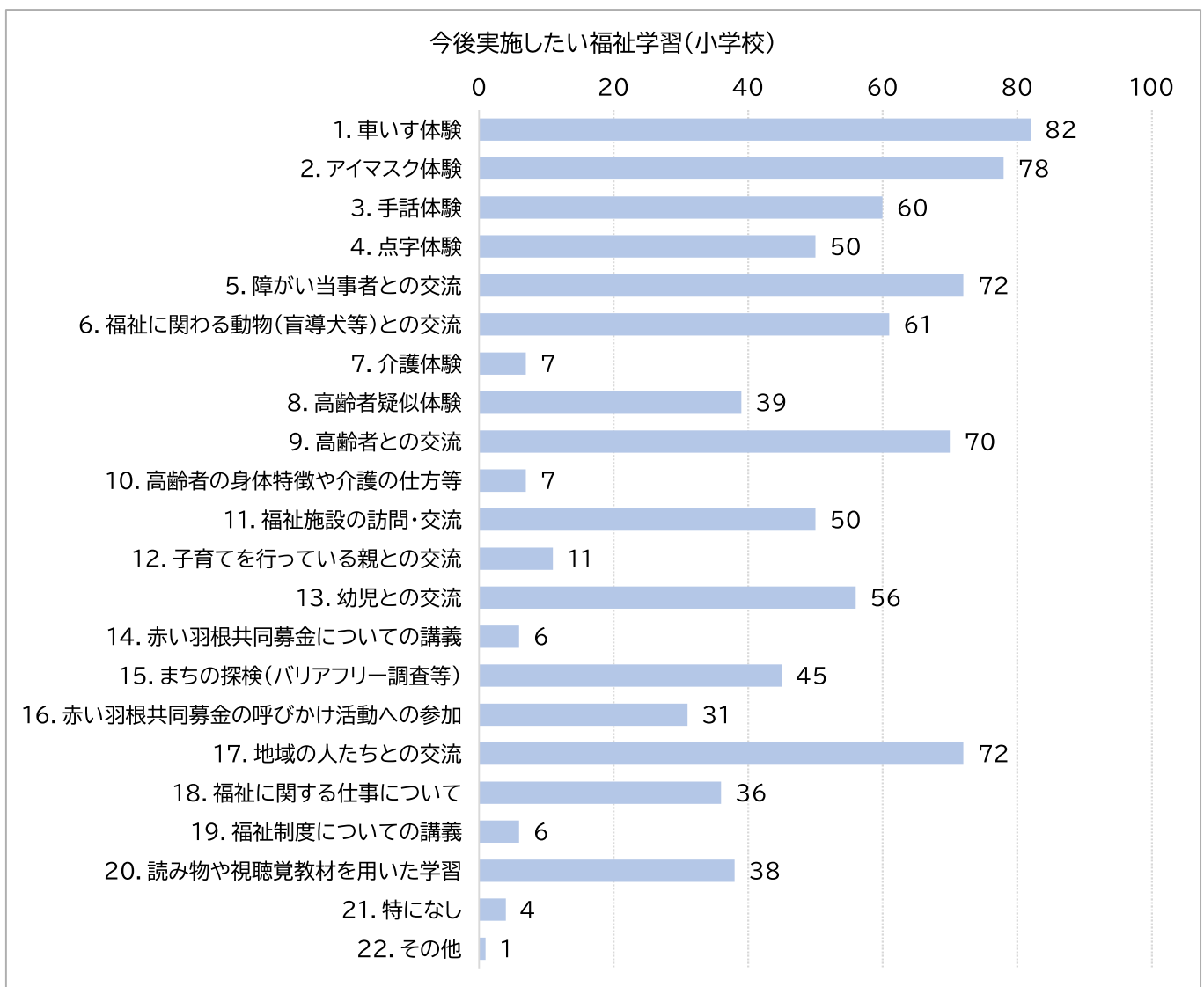
### 〈 中 学 校 〉

- ・ 教育課程上の時間の確保が困難である。(準備、打合せ、まとめの時間が多い。)

「あまり取り組みたくない」と回答した理由については、準備や打合せ、まとめ等の時間的なことを問題としていることがわかりました。

## 16. 今後実施したい福祉学習について（複数回答可）

### 〈 小 学 校 〉



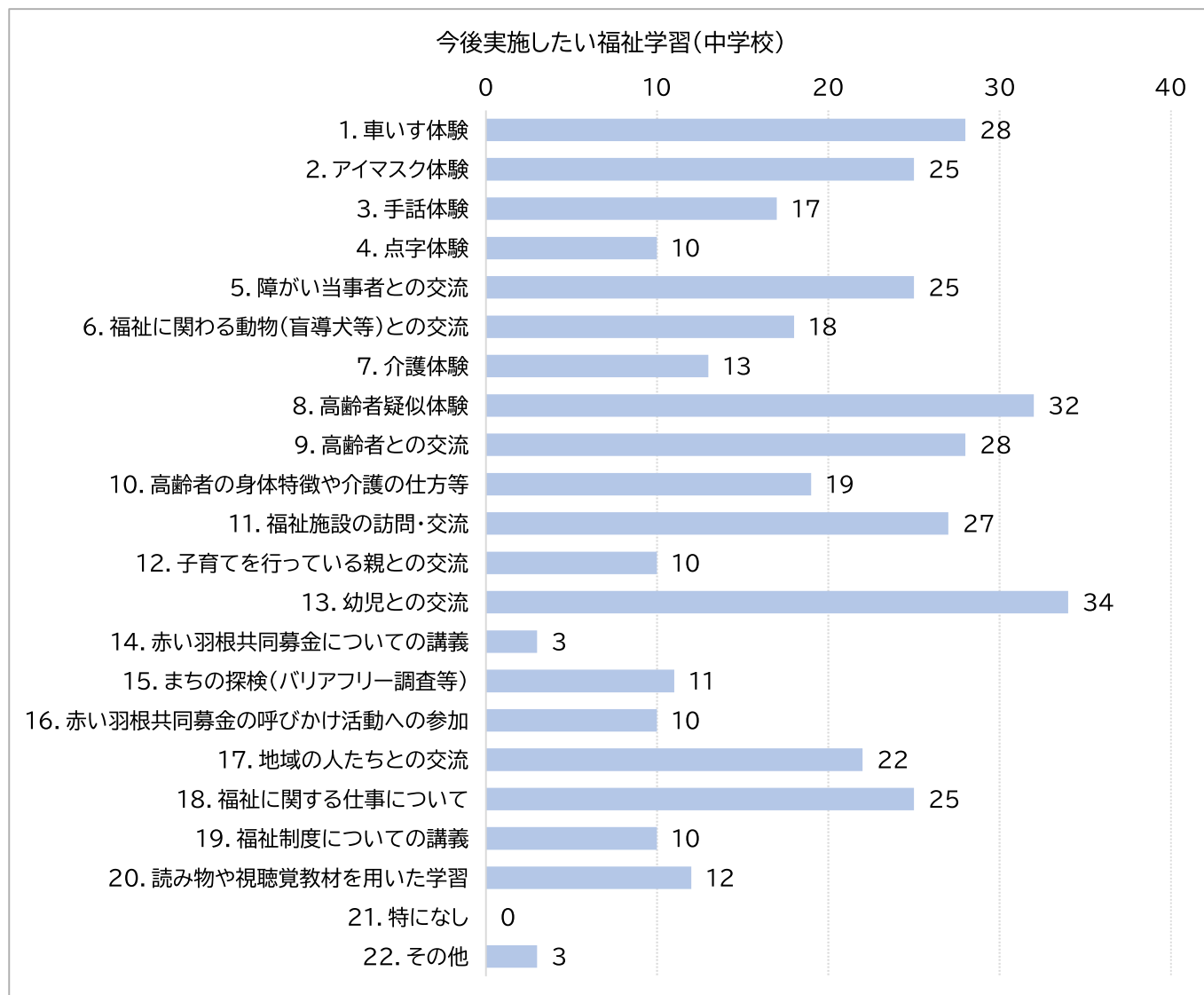
#### ● その他

- ・ パラスポーツ体験

幅広い内容について実施したいと回答がありました。車いすやアイマスク体験、障がい当事者や地域の人たち、高齢者との交流の実施を望んでいる学校が多く見られました。

市町村社協の強みでもある地域や施設とのつながりが大きく活かせると思われます。

## 〈 中学校 〉



### ● その他

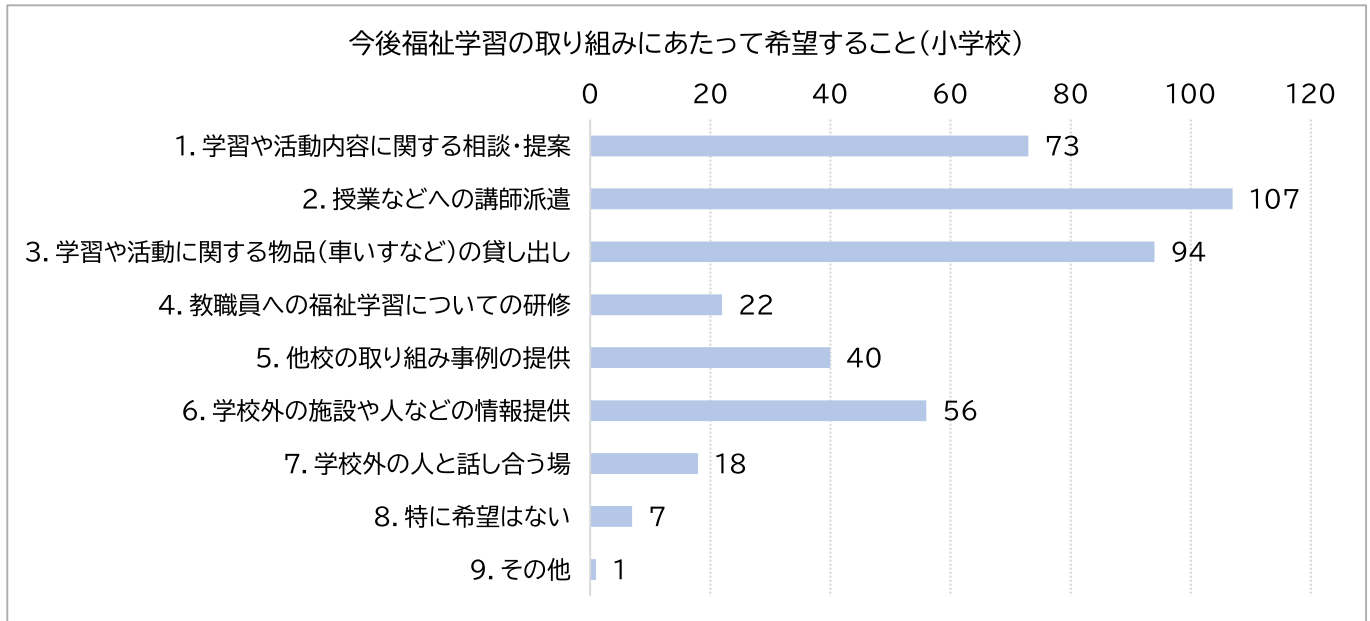
- ・ パラスポーツ体験、パラスポーツ選手との交流
- ・ 学習活動はイベントではなく、準備→実施→ふりかえり(内容の定着)となっているので簡単に取組めない実態をご理解いただきたい。
- ・ 職場としての福祉→キャリア向上が望めない、低収入といわれる課題について

中学校では、特に「幼児との交流」を望む学校が多かったです。ついで「高齢者疑似体験」も多く、「高齢者の身体特徴や介護の仕方等」「福祉に関する仕事について」と回答する学校も多かったです。

その他として、簡単に取組めない実態があるといった意見もありました。社協が、準備から実施、ふりかえりまで関わることで、先生方の負担軽減が図れる取組みについて検討していく必要があると思います。

## 17. 福祉学習に取り組むにあたって希望することについて（複数回答可）

### 〈 小 学 校 〉

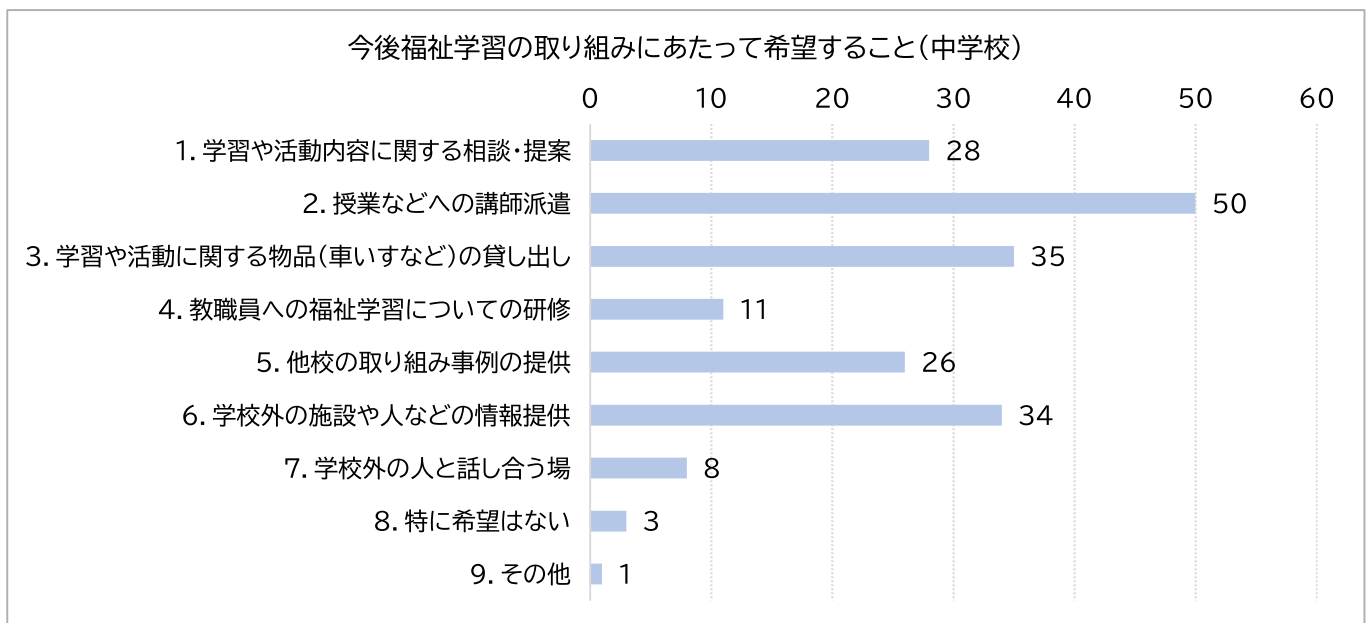


#### ● その他

- ・ コロナ感染による制限

「授業などへの講師派遣」が最も多く、ついで「学習や活動に関する物品(車いすなど)の貸し出し」「学習や活動内容に関する相談・提案」となっています。その他、「学校外の施設や人などの情報提供」「他校の取り組み事例の提供」など、学校外の情報を求める学校が多いことがわかりました。

### 〈 中 学 校 〉



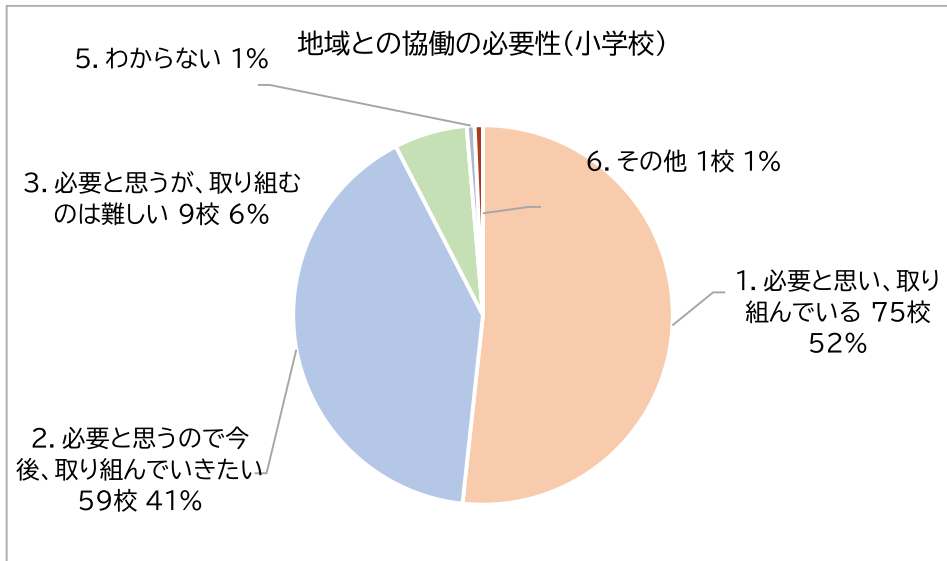
#### ● その他

- ・ パラスポーツ選手との交流手段

中学校においても、全体的に小学校と同じ割合での結果となっています。小学校同様、学校外の取り組みや協力者等の情報を求めていることがわかりました。

## 18. 福祉学習を進めるうえでの地域との協働の必要性について

### 〈 小 学 校 〉

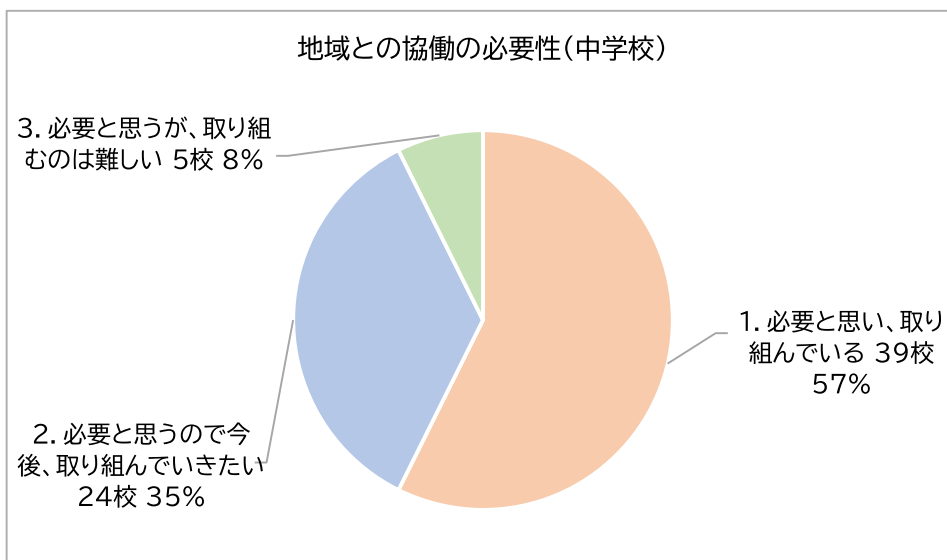


#### ● その他

- ・ 今後コロナ感染症が終息し老人ホームとの交流などができるようになれば、関係機関との連携を図っていきたい。

地域との協働については、すでに取り組んでいる学校が52%と半数を超えており、「必要と思うので今後、取り組んでいきたい」とする学校が41%となっています。全体的に地域との協働の必要性はかなり高いと思われます。一方で、必要性を感じながらも取り組むのは難しいとする学校が9校ありました。

### 〈 中 学 校 〉



小学校と同様に、すでに取り組んでいる学校が半数を超えており、地域との協働の必要性はかなり高いと思われます。

## 19.【18】で「3. 必要と思うが、取り組むのは難しい」「4. 必要と思わない」を選択した理由

### 〈小学校〉

- ・ コロナウイルス感染症対策として地域活動を控えている ・ 新型コロナウイルス感染症 ・ コロナ渦であること
- ・ コロナ禍において地域と連携を取り合うことが困難である。また、臨時休業が重なることにより、各教科の授業時数確保が難しい。
- ・ 地域の高齢化も進み、福祉活動を実践した方が良いとは思いますが、コロナ渦で交流事態が難しく、他の学習過程に変更している。
- ・ 時数や教科との関係、総合的な学習で取り組むテーマが決まっており、福祉に関する学習を行う時間がないため。
- ・ 時間がない。
- ・ まずは、年間計画について見直し、福祉教育について全体で検討していくことが必要であると感じている。その上で、どのような取り組みができるのか考えていきたいと思う。

必要性を感じながらも取り組みが難しいとした理由については、コロナ感染拡大を理由にした学校が多く見られました。また、授業時数やテーマが決まっていること等を理由にあげている学校もありました。

### 〈中学校〉

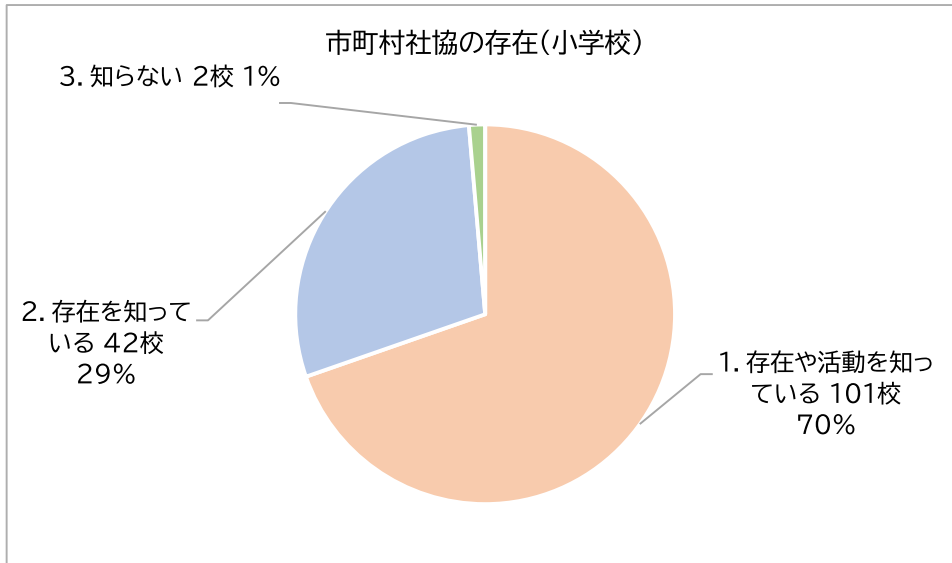
- ・ 連絡を取り合い、準備にかかる時間の確保が難しいため。
- ・ 福祉に係る課題は多くあることは承知していますが…。学校そのものが多忙でありまして、ご希望に添えないことが多い事を理解していただきたいと思います。
- ・ 福祉に関する学習活動以外に取り組む予定にしている活動が多く、時数を十分確保できないため。

地域との協働について、連絡調整や準備の時間の確保、福祉学習の時間の確保を理由としてあげています。多忙な中での時間の確保が問題となっていることがわかりました。



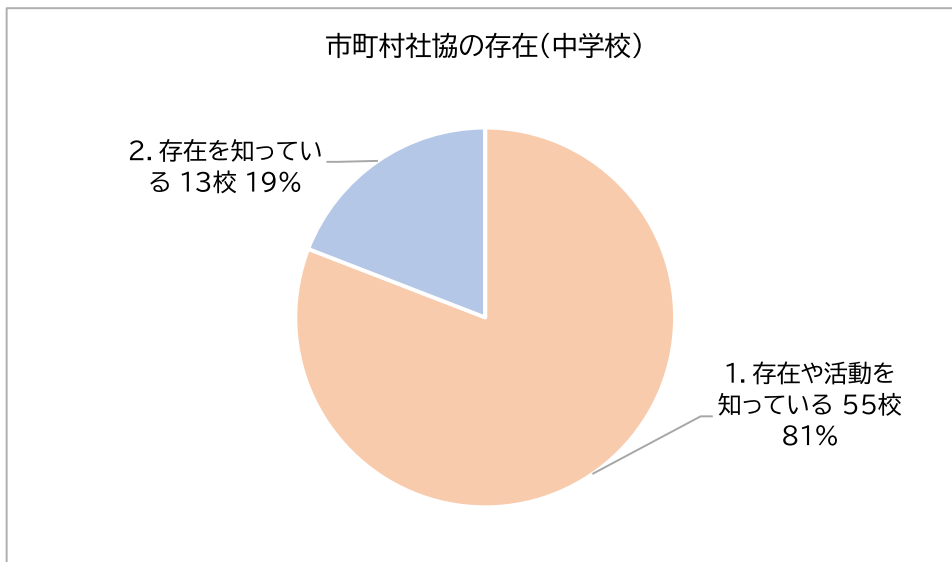
## 20. 市町村社会福祉協議会について

### 〈 小 学 校 〉



回答いただいた学校のほとんどが、市町村社協の存在を知っていることが分かりました。活動まで知っている学校は70%でした。

### 〈 中 学 校 〉



回答いただいた学校すべてが、市町村社協の存在を知っていると回答していました。活動まで知っている学校は81%でした。

## 21. 地元の市町村社会福祉協議会と連携して福祉学習を進めていくことを希望された学校

希望された小学校数	希望された中学校数
65校	29校

## 22. 福祉学習についてのご意見、ご要望等

### 〈小学校〉

- 地域と連携して地域素材を活用した学習を進めていきたい。
- コロナ禍で体験活動がなかなかできなかったので、今年は少しでも体験が伴う活動を学習の中で行いたいです。そして指導者側の意識が大切だと思います。毎年、研修を通して自分自身も含め職員全体の意識を高めていきたいです。
- 街に出て、どのようなバリアがあるのかを学ぶ。例えば、視覚障害のある人を招いて街にどんなバリア(困ること)があるのか話してもらうなど。
- これまでどおり、ユニバーサルスポーツなどについて紹介してもらったり、用具を貸していただければと思います。特に「ボッチャ」について、校内で広まっていくとよいと思っています。
- 4年生は福祉との連携により車いす体験を実施しています。それにとまって、情報提供などしていただきたいなと思っています。よろしくお願いします。
- 児童にとって有意義な活動の情報を積極的に提供していただきたい。
- 今年度(令和4年度)は、総合的な学習の時間の年間指導計画を見直し、3、4年の学級で福祉学習を増やした。地域の実情(少子高齢化)を考えると、子ども達にとっても地域の抱える課題に気付ける学習に発展できるように思う。今後も内容を見直しながら、継続して取り組んでいきたい。
- 毎年、出前手話教室で連携させていただいております。今後ともよろしくお願いいたします。
- 複式学級のため、3・4年生が2年に1度の福祉学習を行っている。その際には、市社会福祉協議会や地域在住の障がい者の方との交流等を積極的に行うことで、学習が充実していると感じる。今後も、継続して取組を進めていきたいと考えている。
- 令和4年度は、福祉教育を学習しているため、現在、社会福祉協議会木次支所の方にお世話になっています。学習の導入段階から、こちらの要望に合わせて学習活動を計画・実施してくださっています。また、学習前には、打ち合わせもしていただき丁寧な対応に感謝しています。
- 現在(今年度)、出雲市社会福祉協議会と連携して、総合的な学習の時間に(3年生は福祉がテーマである。)福祉学習を進めています。指導内容も分かりやすく、児童は課題意識をもって意欲的に取り組んでいます。
- 毎年、出雲市社会福祉協議会にお世話になり感謝しています。今後ともよろしくお願いいたします。
- 今後も市社会福祉協議会と連携を取りながら実施していきたい。
- 本校のある飯南町の地域課題の一つとして、今後も社会福祉協議会のお力をお借りして、6年生の総合的な学習の時間の「町づくり」も含めて、福祉教育を取り上げていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。
- 今後とも社会福祉協議会などと連携をはかりながら、福祉に関する学習活動を実践していきますので、ご支援をよろしくお願いいたします。
- 浜田市社会福祉協議会様から補助金をいただき、福祉教育を進めています。とてもありがたく感謝しています。
- いつも相談にのっていただき、心強く思っています。
- 今後、福祉学習についてご相談させていただくことがあるかもしれませんので記入いたしました。

- 実践事例や協力していただける事業所の紹介、物品の貸し出しできるリストを教えてください。
- 交流したいのは山々ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で、設定しにくいのが現状です。

## 〈 中 学 校 〉

- 東京パラリンピックという、障がい者について理解する素晴らしいイベントが行われたので、パラスポーツ選手との交流の機会を学校にも提供してほしい。
- 総合的な学習の時間で学習することが多い。総合的な学習の時間に探究活動を入れるように言われており、探究的な活動になるような計画段階での相談にのっていただきたい。また、探究活動を取り入れた他校の取り組みなど紹介していただけると大変助かります。
- 現在、浜田市社会福祉協議会弥栄支所の皆さんにお世話になっております。引き続き3年生の総合的な学習の時間の活動にご理解ご協力をよろしくお願いいたします。
- 今後とも地域の社会福祉協議会と協力、相談しながら福祉学習を進めていきたい。
- 平田の社会福祉協議会さんとは、以前から連携させていただいており感謝しています。
- 今年度すでに「介護の出前授業」で協力してもらっています。
- 社会福祉協議会さんには大変お世話になっているので、引き続き連携をお願いしたい。
- 福祉教育的な視点は、各教科の学習の中にも多数盛り込まれている。これからも、こうした視点を意識しながら、教育活動を進めていきたいと考えている。
- コロナ禍につき、特に福祉施設への訪問や交流が近年できにくい状況があり、残念です。
- 社会生活の中で、福祉に関わる知識や体験が活かせる授業をしていく必要があると考えています。実際には、授業時数が確保できにくい課題があります。

## 23.ま と め

今回の調査から、県内のほとんどの小中学校において福祉学習を実践し、今後に向けても積極的に取り組んでいきたいと考えていることがわかりました。

福祉学習のテーマは学年によって異なっていますが、小学校では「障がい者理解」、中学校では「高齢者理解」と「地域課題」が多くなっています。実施している教科は「総合学習」が中心になっていますが、中学校学習指導要領の改訂により、技術・家庭科(家庭分野)に高齢者等地域の人々と協働することに関する内容が新設されたことから、3年生では「総合学習」よりも「技術・家庭」における実施が多くなっています。

福祉学習の内容については、小学校低学年では交流、中学年では体験、高学年では赤い羽根共同募金活動が多くなっており、中学校では、地域の人たちとの交流が最も多くなっています。

福祉学習の授業時数をみると、小中学校において1~4時数をもっとも多くなっていますが、コロナ禍であっても21時数以上を使って取り組んでいる学校も見られました。

一方で、実施しなかった学校については、新型コロナウイルス感染拡大を理由とするものが多く、福祉学習の内容や学習プログラムが分からないといった意見もありました。

福祉学習を実施する際の問題点については、「特に問題点はない」とした学校が多く見られましたが、「福祉学習の指導をする時間的余裕がない」「教育課程上の時間がない」といった時間的な問題を抱えている学校が多いこともわかりました。

福祉学習の計画作成等の事前打合せや、ふりかえりまで十分時間をとることで、子どもたちの学びが深まると思いますが、学校として時間的な問題を抱えていることから、どうしても学習プログラム等の実施に重点を置いてしまう学校が多いということも見えてきました。

また、福祉学習の取り組みにあたって希望することについては、「授業への講師派遣」や「物品の貸し出し」「学習や活動内容に関する相談・提案」を希望している学校が多く、「学校外の施設や人などの情報や他校の取り組みの情報提供」を求める声もいくつか見られました。

今回の調査結果から、市町村社協の認知については9割を超えている一方で、福祉学習をする際の学外の協力者としての社協の関与が約半数にとどまっていること、また、ほとんどの学校が地域との協働の必要性を感じて取り組んでいることもわかりました。

学校と社協それぞれの強みを活かし、地域の「ひと・もの・こと」を活かしたより効果的なふくしの学びが展開できるよう、方策を検討し積極的なアプローチを進めていきたいと思えます。



**\* 小・中学校における福祉に関する学習活動の取り組みに関するアンケート調査票 \***

■ 調査の目的

本会では、福祉教育事業のねらいを「地域住民や団体等が関わり合う連携・協働を通じて、全ての人が『地域で共に生きる力』を育んでいくこと」に位置づけています。

生活困窮や社会的孤立などの問題を背景に、福祉の課題が多様化・深刻化している今日、社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の視点にたつて“排除しない、無関心でない”地域づくりに向けた「学び」を積極的に推進していくことで生活・福祉課題を解決する実践力を高めることは、とても重要となっています。

そこで、学校における福祉に関する学習活動の実践状況や、課題・問題点、要望等を把握・整理することにより、学校と社会福祉協議会が、連携・協働しやすい環境づくりを行うことを目的に本調査を実施します。

【問1】 貴校の基本情報についてお答えください。

(1) 所在地 ※当てはまるものに○印	1. 松江市    2. 浜田市    3. 出雲市    4. 益田市 5. 大田市    6. 安来市    7. 江津市    8. 雲南市 9. 奥出雲町   10. 飯南町   11. 川本町   12. 美郷町 13. 邑南町    14. 津和野町   15. 吉賀町   16. 海士町 17. 西ノ島町   18. 知夫村   19. 隠岐の島町
(2) 児童数	(       ) 名 ※ R4. 4. 1現在

【問2】 貴校では、令和3年度に、福祉に関する学習活動(以下「福祉学習」という。)を実施しましたか？

1. はい                    ⇒ 「1. はい」と回答した学校は、問3以下に進んでください。  
2. いいえ                 ⇒ 「2. いいえ」と回答した学校は、問12以下に進んでください。

【問3】 貴校が、令和3年度に実施した福祉学習は、下記のどの教科・活動ですか？番号を記入してください。(複数回答可)

〈小学校〉

1. 総合的な学習の時間	2. 生活	3. 国語
4. 社会	5. 算数	6. 理科
7. 音楽	8. 図画工作	9. 家庭
10. 体育	11. 道徳	12. 外国語活動・外国語
13. 学校(学年)行事	14. 学級活動	15. 児童会活動
16. クラブ活動・部活動	17. その他(       )	

1年生	17.その他(       )
2年生	17.その他(       )
3年生	17.その他(       )
4年生	17.その他(       )
5年生	17.その他(       )
6年生	17.その他(       )

〈中学校〉

1. 総合的な学習の時間	2. 国語	3. 社会
4. 数学	5. 理科	6. 音楽
7. 美術	8. 保健体育	9. 技術・家庭(家庭分野)
10. 外国語	11. 道徳	12. 学校(学年)行事
13. 学級活動	14. 生徒会活動	15. クラブ活動・部活動
16. その他(       )		

1年生	2年生	3年生
16.その他(       )	16.その他(       )	16.その他(       )

【問4】 貴校が、令和3年度に実施した福祉学習のテーマは、下記のどれですか？番号を記入してください。(複数回答可)

1. 障がい者理解  
2. 高齢者理解  
3. 幼児と子育て理解  
4. 地域課題  
5. その他(       )

〈小学校〉

1年生	2年生	3年生
5.その他(       )	5.その他(       )	5.その他(       )
4年生	5年生	6年生
5.その他(       )	5.その他(       )	5.その他(       )

〈中学校〉

1 年 生	2 年 生	3 年 生
5.その他( )	5.その他( )	5.その他( )

【問5】貴校が、令和3年度に実施した福祉学習の内容は、具体的に下記のとおりですか？番号を記入してください。(複数回答可)

1. 車いす体験
2. アイマスク体験
3. 手話体験
4. 点字体験
5. 障がい当事者との交流
6. 福祉に関わる動物(盲導犬等)との交流
7. 介護体験
8. 高齢者疑似体験
9. 高齢者との交流
10. 高齢者の身体特徴や介護の仕方等
11. 福祉施設の訪問・交流
12. 子育てを行っている親との交流
13. 幼児との交流
14. 赤い羽根共同募金についての講義
15. まちの探検(バリアフリー調査等)
16. 赤い羽根共同募金の呼びかけ活動への参加
17. 地域の人々との交流
18. 福祉に関する仕事について
19. 福祉制度についての講義
20. 読み物や視聴覚教材を用いた学習
21. その他( )

〈小学校〉

1 年生	21.その他( )
2 年生	21.その他( )
3 年生	21.その他( )
4 年生	21.その他( )
5 年生	21.その他( )
6 年生	21.その他( )

〈中学校〉

1 年 生	2 年 生	3 年 生
21.その他( )	21.その他( )	21.その他( )

【問6】福祉学習を実施した際、児童・生徒の変化を把握するための方法は下記のとおりですか？当てはまるものに○をしてください。(複数回答可)

1. 感想文によって
2. 児童・生徒間で話し合う場にて
3. 活動をふりかえり、感想や意見を発表する場を通して
4. 日頃の子どもの話や行動から
5. 保護者や学校外の人の話からの情報によって
6. その他( )

【問7】貴校が、令和3年度に実施した福祉学習の総授業時数は、おおよそ下記のとおりですか？あてはまる番号を記入してください。

- |            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| 1. 1～4時数   | 2. 5～8時数   | 3. 9～12時数 |
| 4. 13～16時数 | 5. 17～20時数 | 6. 21時数以上 |

〈小学校〉

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生

〈中学校〉

1 年 生	2 年 生	3 年 生

【問8】貴校が、令和3年度に福祉学習を実施した際に、協力・連携を得られた学外の協力者はありましたか？

1. あった ⇒ 「1. あった」と回答した学校は、問9以下に進んでください。
2. なかった ⇒ 「2. なかった」と回答した学校は、問10以下に進んでください。

【問9】貴校が、令和3年度に福祉学習を実施した際に、協力・連携を得られた学外の協力者は、下記のとおりですか？当てはまるものに○をしてください。(複数回答可)

1. 当事者
2. 教育委員会
3. 市町村社会福祉協議会
4. 地区社会福祉協議会
5. 福祉施設・事業所
6. 自治会
7. 民生委員・児童委員
8. 子ども会
9. 老人クラブ
10. 幼稚園・保育所・認定こども園
11. PTA
12. 大学
13. 特別支援教室・特別支援学校
14. 商店街
15. 病院
16. 警察・消防
17. 公民館
18. 民間企業
19. ボランティア活動を行っている個人・団体
20. その他( )

【問10】 貴校が福祉学習を実施する際、最も重点をおいているのは何ですか？当てはまるもの1つに○をしてください。

1. 事前打合せ(計画作成等)
2. 学習プログラム等の実施
3. まとめ(感想文や発表会等)
4. ふりかえり
5. その他 ( )

【問11】 貴校が、福祉学習を実施する際の問題点等は下記のどれですか？当てはまるものに○をしてください。(複数回答可)

1. 児童・生徒の福祉学習に対する興味・関心が薄い
2. 福祉学習に取り組む教育課程上の時間がない
3. 福祉学習の取り組みの仕方がわからない
4. 福祉学習の指導をする時間的余裕がない
5. 教職員への研修受講機会の不足
6. 福祉学習について学校外との連携体制がない
7. 福祉学習に係る予算的措置がない
8. 特に問題点はない
9. その他 ( )

⇒ 問13以下に進んでください。

【問12】 令和3年度に福祉学習を実施しなかった学校にお聞きます。貴校が実施しなかった理由は、下記のどれですか？当てはまるものに○をしてください。(複数回答可)

1. 学校の年間計画に福祉学習が入っていない
2. 福祉学習に使用できる予算を確保できていない
3. 福祉学習の内容・学習プログラムが分からない
4. 福祉学習を教えられる教員がいない
5. 福祉学習に協力してくれる福祉関係者(福祉施設・社協・当事者等)のネットワークがない
6. その他 ( )

【問13】 今後に向けた、福祉学習の取り組みへの考えは下記のどれですか？当てはまるもの1つに○をしてください。

1. 積極的に取り組みたい
2. 取り組みたい
3. あまり取り組みたくない
4. 取り組み予定はない
5. わからない

【問14】 【問13】で「3.あまり取り組みたくない」「4.取り組み予定はない」を選択した理由をご記入ください。

【問15】 貴校が、今後実施したい福祉学習は、下記のどれですか？当てはまるものに○をしてください。(複数回答可)

1. 車いす体験
2. アイマスク体験
3. 手話体験
4. 点字体験
5. 障がい当事者との交流
6. 福祉に関わる動物(盲導犬等)との交流
7. 介護体験
8. 高齢者疑似体験
9. 高齢者との交流
10. 高齢者の身体特徴や介護の仕方等
11. 福祉施設の訪問・交流
12. 子育てを行っている親との交流
13. 幼児との交流
14. 赤い羽根共同募金についての講義
15. まちの探検(バリアフリー調査等)
16. 赤い羽根共同募金の呼びかけ活動への参加
17. 地域の人たちとの交流
18. 福祉に関する仕事について
19. 福祉制度についての講義
20. 読み物や視聴覚教材を用いた学習
21. 特になし
22. その他 ( )

【問16】 今後、貴校が福祉学習に取り組むにあたって、希望することは以下のどれですか？当てはまるものに○をしてください。(複数回答可)

1. 学習や活動内容に関する相談・提案
2. 授業などへの講師派遣
3. 学習や活動に関する物品(車いすなど)の貸し出し
4. 教職員への福祉学習についての研修
5. 他校の取り組み事例の提供
6. 学校外の施設や人などの情報提供
7. 学校外の人と話し合う場
8. 特に希望はない
9. その他 ( )

【問17】 福祉学習を進めるうえで、学習素材を地域に求めるなど、地域との協働の必要性について、あてはまるもの1つに○をしてください。

1. 必要と思ひ、取り組んでいる
2. 必要と思うので今後、取り組んでいきたい
3. 必要と思うが、取り組みのは難しい
4. 必要と思わない
5. わからない
6. その他 ( )

【問18】 【問17】で「3.必要と思うが、取り組みのは難しい」「4.必要と思わない」を選択した理由をご記入ください。

【問19】市町村社会福祉協議会があることを知っていますか？あてはまるもの1つに○をしてください。

1. 存在や活動を知っている
2. 存在を知っている
3. 知らない

【問20】今後、貴校が、地元の市町村社会福祉協議会と連携して福祉学習を進めていくことを希望される場合は、下記に情報をご記入ください。(ご記入いただいた連絡先等の情報を、最寄りの社会福祉協議会と共有させていただきます。)

学校名		
担当者役職名		担当者氏名
TEL		FAX
E-mail		

★福祉学習について、ご意見、ご要望等ございましたらご記入ください。

ご協力、ありがとうございました。